

FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700

BMCユーザーズガイド

はじめに

本書はFUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700のBMC（Baseboard Management Controller）の操作方法を説明します。
BMCは本装置を管理・制御する機能を提供します。

本書の構成と内容

本書は、以下の章から構成されています。

第1章 Web GUIを使用するための環境と設定

BMCをWeb上で操作する環境を説明しています。

第2章 Web GUIの基本操作と動作

BMCを操作するWeb画面へのログインとログアウト、および画面の構成を説明しています。

第3章 Web GUIの機能

Web GUIのカテゴリと画面を示し、それぞれの機能を説明しています。

第4章 コマンドサポート (IPMI)

BMCが受け付けるリクエスト（コマンド）、コマンドの機能、およびRequest/Responseデータフォーマットを説明しています。

付録 A REMCS

REMCSの設定について説明しています。

警告／重要表示について

このマニュアルでは以下の表示を使用して、使用者や周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告や使用者にとって価値のある重要な情報を示しています。

警告

「警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ること（潜在的な危険状態）を示しています。

注意

「注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

本文中の警告表示の仕方

警告レベルの記号の後ろに警告文が続きます。警告文は、通常の記述と区別するため、行端を変えています。さらに、通常の記述行からは、前後1行ずつ空けています。

改版記録表

版数	日付	変更箇所（変更種別）(*1)	変更内容
01	2020-02-27	-	新規作成
02	2020-03-17	はじめに 3章	「安全・電波・電源高調波（欧州）」を追加 「規制」に「CE準拠」を追加 「表 3.28 SNMP Trap設定情報の指定」の更新。 画面の表示項目の記載順の変更。
03	2020-06-25	2章 3章	「2.1.1 ログイン」の「ログインする」の備考の更新 「表 3.2 [FRU Information] 画面の表示項目」および「3.5.2 Firmware Update」の更新
04	2020-09-25	3章 4章	「3.3 Power Control」の更新 「4.1 コマンド一覧表」の更新
05	2020-11-24	はじめに 2章 3章 4章	「安全・電波・電源高調波（北米）」、「安全・電波・電源高調波（欧州）」、および「警告ラベル」の更新 画面例の説明の追加、および「2.1.1 ログイン」の更新 「3.1 Server Status」、「3.2 System Event Logs」および「3.4 Configuration」の更新 非サポートコマンドの注意の追加
06	2021-01-28	はじめに 4章	「台湾」を追加 各国の「輸出関連」の表、および「リチウム電池の取扱いについて」を削除 「4.1.6 Get Boot Script Number (NetFN: 34h, CMD: 4Fh)」タイトルの更新

1: 変更箇所は最新版の項番を示している。ただし、アスタリスク（）の付いている項番は、旧版の項番を示す。

以下の項目について説明します。

- 安全な使用のために
- 各国の法規制準拠
- 規制
- マニュアル体系
- 表記上の規則
- 警告ラベル

安全な使用のために

このマニュアルの取扱いについて

このマニュアルには、当製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。当製品を使用する前に、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 オペレーティングマニュアル』（C120-0089）、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 はじめにお読みください』（C120-0093）、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 安全にご使用いただくために』（C120-0092）、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』（C120-0091）、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 アップグレード&メンテナンスマニュアル』（C120-0090）を熟読してください。特にそれぞれのマニュアルに記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解したうえで当製品を使用してください。

このマニュアルは大切に保管してください。

富士通は、使用者および周囲の方の身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、マニュアルの説明に従ってください。

当製品について

当製品は、一般事務用、パーソナル用、通常の産業用などの一般的用途を想定して設計・製造されているものです。原子力核制御、航空機、飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置をほどこすことなく、当製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社担当営業までご相談ください。

各国の法規制準拠

FX700システムは以下の法規制に準拠しています。

北米

安全・電波・電源高調波（北米）

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
UL	ANSI/UL 60950-1, 2 nd Ed., 2014-10-14 ANSI/UL 62368-1, 2 nd Ed., 2014-12-01	✓		
FCC	FCC Part-15 Subpart-B (2019)		✓	
CSA	CAN/CSA C22.2 No. 60950-1-07, 2 nd Ed., 2014-10 CAN/CSA C22.2 No. 62368-1-14, 2 nd Ed., 2014-12	✓		
ICES	ICES-003 Issue6 (2017)		✓	

環境物質（北米）

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
臭素系難燃剤規制（米国メイン州、ワシントン州、オレゴン州、バーモント州）		✓	
過塩素酸化合物の環境への排出を抑制する法律（カリフォルニア州）		✓	
プロポジション65（カリフォルニア州）		✓	
特定有害物質禁止法規（SOR/2012-285）		✓	

欧州

安全・電波・電源高調波（欧州）

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
EN, IEC	IEC 60950-1:2005 (2 nd Ed.) ; Am1:2009+Am2:2013 EN 60950-1:2006 +A11:2009 +A1:2010+A12:2011+A2:2013 IEC 62368-1:2014 EN 62368-1:2014+A11:2017	✓		
	EN62479 (2010) EN55035 (2017) EN55032 (2012); Class A EN55024 (2010) EN61000-4-2 (2009) EN61000-4-3 (2006),+A1, +A2 EN61000-4-4 (2012) EN61000-4-5 (2014),+A1 EN61000-4-6 (2014) EN61000-4-8 (2010) EN61000-4-11(2004),+A1 EN300 386 V2.1.1(2016)		✓	
	EN61000-3-2 (2014) EN61000-3-3 (2013)			✓

環境物質・リサイクルと廃棄（欧州）

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
ErP指令 (2009/125/EC)	✓	✓	✓
RoHS II (2011/65/EU)		✓	
新化学品 規則（REACH : No 1907/2006）		✓	
電池及び蓄電池に関する欧州議会及び理事会指令（2006/66/EC）		✓	
電気・電子機器廃棄物指令（WEEE指令）			✓
包装及び包装廃棄物に関する欧州議会及び理事会指令（包装材指令）			✓

日本

安全・電波・電源高調波（日本）

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
PSE	電気用品安全法	✓		
VCCI	VCCI (2016) /VCCI-CISPR 32 (2016)		✓	
-	JIS C 61000-3-2 (2019)			✓

省エネ・環境物質・リサイクルと廃棄（日本）

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
エネルギーの使用の合理化に関する法律	✓		
化学物質の審査及び製造に関する法律（化審法）		✓	
国等による環境物品等の調達の促進に関する法律（グリーン購入法）		✓	
資源の有効な利用の促進に関する法律			✓

韓国

安全・電波・電源高調波（韓国）

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
KCC	K 60950-1 (2.0) (2011-12) (PSUのみ)	✓		
	KN32 Class A KN35 KN61000-4-2/3/4/5/6/8/11		✓	

リサイクルと廃棄（韓国）

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
包装材分別表示規則			✓

オーストラリア／ニュージーランド

安全・電波・電源高調波（オーストラリア／ニュージーランド）

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
RCM	IEC60950-1:2005 (2 nd Ed.); Amd1+ Amd2 with AU, NZ deviation	✓		
	AS/NZS CISPR 32 (2013)		✓	

台湾

安全・電波・電源高調波（台湾）

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
BSMI	CNS 14336-1	✓		
	CNS 13438		✓	

環境物質（台湾）

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
台湾RoHS規制		✓	

適合規制条件への対応

製品に記載されている適合規制条件は、以下のとおりです。

- Voluntary Control Council for Interference (VCCI) - Japan
一般財団法人 VCCI 協会（VCCI） - 日本

本製品を設置する前に、製品に記載されている注意文をよくお読みください。
製品に記載されている注意文は、以下のとおりです。

- VCCI クラスA 注意文について

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCC I - A

規制

ここでは、規制を説明します。

CE 準拠



システムは、欧州規制の要件に適合しています。

⚠ 注意

この製品はクラスA 製品です。この製品を家庭環境で使用するとRF 干渉を引き起こすことがあります。この場合にはユーザーが適切な対策を採る必要があります。

FCC クラスA 適合性宣言

デバイスに FCC 宣言の表示がある場合は、本書に別段の規定がない限り、この宣言は本書に記載されている製品に適用されます。その他の製品に関する宣言は、付属のドキュメントに記載されます。

⚠ 注意

この機器は、FCC 規則のPart15で規定されている「クラスA」デジタルデバイスの条件に準拠していることが、試験を通じて検証されていて、デジタルデバイスについてのカナダ干渉発生機器標準 ICES-003のすべての要件を満たしています。これらの制限は、本装置を家庭内設置で運用する場合に、電波障害に対する適切な保護措置が行われるように設計されています。本製品は、無線周波エネルギーを発生、使用、また放射する可能性があり、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。手順に厳密に従って設置、利用する場合はその限りではありません。ただし、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。本製品によってラジオまたはテレビに有害な干渉が発生する場合（機器のスイッチをオン/オフして確認できます）、以下の1つまたは複数の対策を講じて干渉を修復することを推奨します。

- 受信アンテナの方向を変えるか設置場所を変えます。
- 装置と受信機との距離を広げます。
- 装置を、受信機が接続されている回路とは別のコンセントに接続します。
- 販売店または経験を積んだラジオ/TV 技術者にサポートを依頼します。

この機器を許可なく改造したり、富士通が指定する以外の接続ケーブルや機器の代替使用または接続を行った場合は、これによって生じたラジオまたはテレビの干渉について、富士通は、一切の責任を負わないものとします。このような許可のない改造、代替使用、接続によって生じた干渉は、ユーザーの責任で修正するものとします。

本装置をいずれかのオプションの周辺機器またはホストデバイスに接続するには、シールドされた I/O ケーブルを使用する必要があります。遮蔽 I/O ケーブルを使用しないと、FCC および ICES 規則に違反する場合があります。

マニュアル体系

ドキュメントは、オンラインで入手できます。

日本の場合

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/supercomputer/downloads/>

海外の場合

<https://www.fujitsu.com/global/products/computing/servers/supercomputer/documents/>

ドキュメントの概要は、以下の表を参照してください。

ドキュメント	マニュアルコード	説明
FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 オペレーティングマニュアル	C120-0089	装置のインストール、セットアップ、および運用の方法に関する情報を記載しています（オンラインで提供）。
FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 アップグレード & メンテナンスマニュアル	C120-0090	装置のアップグレード、または故障したハードウェアの交換手順を記載しています（オンラインで提供）。
FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズ ガイド	C120-0091	装置の状態を管理するBMC（Baseboard Management Controller）に関する情報を記載しています（オンラインで提供）。
FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 安全にご使用 いただくために	C120-0092	安全に関する重要な情報を記載しています（オンラインおよび印刷版で提供）。
FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 はじめにお読み ください	C120-0093	装置の開梱後、参照すべきマニュアルおよび重要な情報へのアクセス方法について説明しています（製品添付マニュアル）。

添付品の保管について

添付品はFX700本体装置の運用上必要になりますので、大切に保管してください。

表記上の規則

本書では、以下のような字体や記号を、特別な意味を持つものとして使用しています。

字体または記号	意味	記述例
AaBbCc123	ユーザーが入力し、画面上に表示される内容を示します。この字体は、コマンドの入力例を示す場合に使用されます。	# adduser jsmith
AaBbCc123	コンピューターが出力し、画面上に表示されるコマンドやファイル、ディレクトリの名称を示します。この字体は、枠内でコマンドの出力例を示す場合に使用されます。	Shell> showinfo . . M.2 Slot Device Status: PASS
『』	参照するマニュアルのタイトルを示します。	『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』を参照してください。
「」	参照する章、節、項、ボタンやメニュー名を示します。	「第4章 操作」を参照してください。

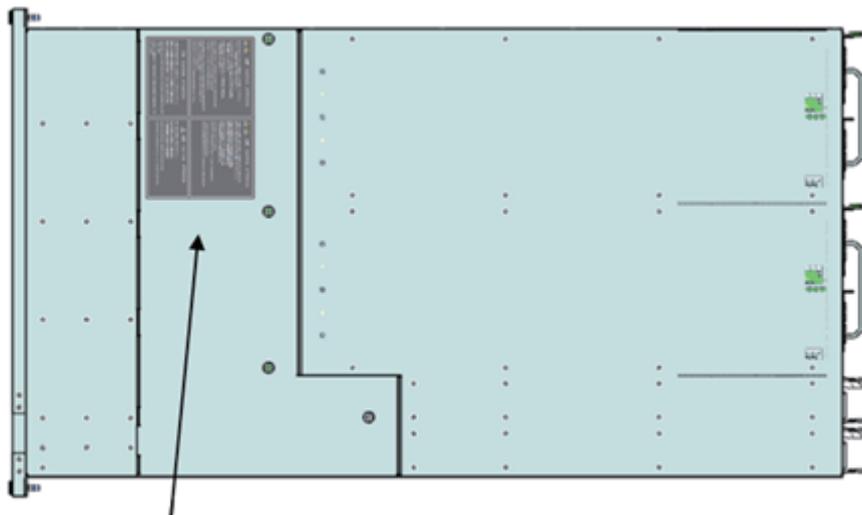
警告ラベル

当製品には警告ラベルが貼付されています。

⚠ 注意

ラベルは絶対にはがさないでください。

本体装置（天面）



<p>⚠ ⚠ ⚠ 注意 CAUTION ATTENTION</p> <p>感電 触电</p> <p>保守する前に、すべての電源コードを抜いてください。 (ただし、活性保守時はこの限りではない。)</p> <p>在进行维护工作之前,请从插座上拔掉所有电源线。 (带电维护不在此范围内)</p> <p>在進行維護工作之前,請從插座上拔掉所有電源線。 (帶電維護不在此範圍內)</p> <p>DISCONNECT ALL POWER SUPPLY CORDS BEFORE SERVICE TO AVOID ELECTRIC SHOCK. (EXCEPT FOR ACTIVE MAINTENANCE.)</p> <p>DEBRANCHER TOUS LES CORDONS D'ALIMENTATION AVANT LA MAINTENANCE POUR PREVENIR LES CHOCS ÉLECTRIQUES. (EXCEPTÉ LORS DE LA MAINTENANCE ACTIVE.)</p>	<p>⚠ ⚠ 注意 CAUTION ATTENTION</p> <p>感電 触电</p> <p>内部には高電圧部分があり、感電する恐れがあります。 保守担当者以外の方は内部に触れないでください。</p> <p>装置内有高电压部分,有引起触电的危险。 除保养担当者之外,请勿触摸装置内部。</p> <p>裝置內有高壓部分,有引起觸電的危險。 除保養擔當者外,請勿觸摸裝置內部。</p> <p>HAZARDOUS VOLTAGE. SERVICE ENGINEER ONLY TOUCH THE INSIDE.</p> <p>TENSIONS DANGEREUSES. SEUL UN INGÉNIEUR PEUT VÉRIFIER L'INTÉRIEUR.</p>
<p>注意 CAUTION ATTENTION</p> <p>本機器を搭載する前に、設置マニュアルをみてください。 请务必先阅读本装置安装手册之后,再进行机器的安装。 請務必先閱讀本裝置安裝手冊之後,再進行機器的安裝。</p> <p>SEE INSTALLATION INSTRUCTIONS BEFORE INSTALLING THIS UNIT.</p> <p>VOIR LE MANUEL D'INSTRUCTIONS AVANT D'INSTALLER CET UNITÉ.</p>	<p>⚠ 注意 CAUTION ATTENTION</p> <p>保守時は静電気を除去すること。 维护保养时必须佩带防静电腕带。 維護保養時必須佩帶防靜電腕帶。</p> <p>ELECTROSTATIC SENSITIVE DEVICES. CIRCUITS SENSIBLES A L'ELECTRICITÉ STATIQUE.</p>

商標一覧

- 会社名と製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。
- 本資料に掲載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示（TM、（R））を付記しておりません。

本書を無断で複製・転載しないようにお願いします。
All Rights Reserved, Copyright. 富士通株式会社 2020, 2021,

製品取扱い上の注意事項

メンテナンスについて

警告

当製品および弊社提供のオプション製品について、点検や修理の作業は担当技術員または弊社の担当営業へ依頼してください。お客様は絶対に作業しないようお願いします。感電、けが、発火のおそれがあります。

当製品の改造／再生について

注意

当製品に改造を加えたり、当製品の中古品を再生して使用したりすると、使用者や周囲の方の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

ご不要になったときの廃棄・リサイクル

弊社では、ご使用済みのICT製品を回収・リサイクル（有償）し、資源の有効利用に積極的に取り組んでいます。詳細は、弊社ホームページ「ICT製品の処分・リサイクル方法」(<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/recycleinfo/>)をご覧ください。

目次

はじめに	i
製品取扱い上の注意事項	x
第1章 Web GUIを使用するための環境と設定	1
1.1 動作環境	1
1.1.1 OS	1
1.1.2 ブラウザ	1
1.1.3 言語	1
1.2 各種設定	2
1.2.1 ブラウザの設定	2
1.2.2 ネットワークの設定	2
第2章 Web GUIの基本操作と動作	3
2.1 ログインとログアウト	3
2.1.1 ログイン	3
2.1.2 ログアウト	6
2.2 Web GUI画面の説明	7
第3章 Web GUIの機能	10
3.1 Server Status	11
3.1.1 FRU Information	11
3.1.2 CMU information	12
3.2 System Event Logs	15
3.3 Power Control	23
3.4 Configuration	25
3.4.1 Chassis Settings	25
3.4.2 Services	27
3.4.3 Network Settings	32
3.4.4 Time Settings	34
3.4.5 SNMP Trap Settings	36
3.4.6 SSL Certificate Configuration	39
3.5 Maintenance	42
3.5.1 Maintenance	42
3.5.2 Firmware Update	46
3.5.3 REMCS	48

3.5.4	REMCS Detail Setup	49
3.6	User	49
3.6.1	Modify User	50
3.6.2	One Time Password	51
第4章	コマンドサポート (IPMI)	53
4.1	コマンド一覧表	53
4.1.1	IPMI標準コマンド一覧表	53
4.1.2	Get Chassis Status (NetFN:00h, CMD:01h)	54
4.1.3	Chassis Control (NetFN:00h, CMD:02h)	56
4.1.4	OEMコマンド一覧表	56
4.1.5	Set Boot Script Number (NetFN: 34h, CMD: 2Eh)	56
4.1.6	Get Boot Script Number (NetFN: 34h, CMD: 4Fh)	57
付録 A	REMCS	58
A.1	REMCSの設定	58
A.1.1	環境の準備	58
A.1.2	REMCSの設定	59
A.2	REMCS Detail Setup	68
A.2.1	REMCS CEメニュー (初期画面)	68
A.2.2	環境詳細情報	69
A.2.3	接続先REMCSセンター	71
A.2.4	日本語／英語切替え	72
A.2.5	装置名表示の切替え	72
A.2.6	個人情報削除	73
A.2.7	SSL証明書の表示	74
A.2.8	接続先センターリストの入れ替え	75

図表目次

図目次

図 2.1	ログイン画面	4
図 2.2	[Logout] ボタン	6
図 2.3	画面構成および画面サイズ	7
図 2.4	Information領域	7
図 3.1	[FRU Information] 画面	11
図 3.2	[CMU Information] 画面	13
図 3.3	[System Event Logs] 画面	16
図 3.4	snapshot採取ダイアログ	18
図 3.5	詳細ダイアログボックス	22
図 3.6	[Power Control] 画面	23
図 3.7	[Chassis Settings] 画面	26
図 3.8	[Services] 画面	28
図 3.9	webサービス変更ダイアログボックス	29
図 3.10	sshサービス変更ダイアログボックス	30
図 3.11	snmpサービス変更ダイアログボックス	31
図 3.12	[Network Settings] 画面	32
図 3.13	[Time Settings] 画面	34
図 3.14	[SNMP Trap Settings] 画面	36
図 3.15	[SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ	40
図 3.16	[SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ	41
図 3.17	[Maintenance] 画面	43
図 3.18	[Firmware Update] 画面	47
図 3.19	[REMCS] 画面	49
図 3.20	[REMCS Detail] 画面	49
図 3.21	[Modify User] 画面	50
図 3.22	[One Time Password] 画面	52
図 A.1	[お客様登録のご案内] 画面	60
図 A.2	[接続先REMCSセンターの設定] 画面	60
図 A.3	[初期設定] 画面	61
図 A.4	[インターネット（メールのみ）接続の環境設定] 画面	61
図 A.5	[定期接続スケジュール設定] 画面	63
図 A.6	[お客様情報の入力] 画面	64
図 A.7	[入力情報の確認] 画面	65

図 A.8	[情報送信に関する合意事項] 画面	66
図 A.9	[レジストレーション結果] 画面	66
図 A.10	[接続確認] 画面	67
図 A.11	[接続確認結果] 画面	68
図 A.12	REMCS CEメニュー（初期画面）	69
図 A.13	環境詳細情報	69
図 A.14	接続先REMCSセンターの設定	72
図 A.15	日本語／英語の切替え	72
図 A.16	装置ID／ユニーク名の切替え	73
図 A.17	個人情報削除	73
図 A.18	証明書の表示	74
図 A.19	SSL証明書が存在しない場合の表示	74
図 A.20	接続センターリストの入れ替え	75

表目次

表 2.1	ログイン画面の操作項目	4
表 2.2	ログイン画面の表示項目	5
表 2.3	画面のアイコン	5
表 2.4	[Logout] ボタン	6
表 2.5	Error Statusの背景色と文字色の意味	8
表 3.1	Web GUIの画面の一覧	10
表 3.2	[FRU Information] 画面の表示項目	12
表 3.3	[CMU Information] 画面の表示項目	13
表 3.4	[System Event Logs] 画面の操作項目	17
表 3.5	採取するスナップショットの指定	18
表 3.6	ダウンロード対象とする環境ログの指定	19
表 3.7	Event type Filterのフィルター条件	19
表 3.8	[System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目	20
表 3.9	詳細ダイアログボックスの表示項目	22
表 3.10	[Power Control] 画面の操作項目	24
表 3.11	電源制御と起動モードの指定	24
表 3.12	[Power Control] 画面の表示項目	25
表 3.13	[Chassis Settings] 画面の操作項目	26
表 3.14	FX700本体装置名と高度の指定	26
表 3.15	[Chassis Settings] 画面の表示項目	27
表 3.16	[Services] 画面の表示項目	28
表 3.17	[Chassis Settings] 画面の操作項目	29
表 3.18	webサービスの指定	30
表 3.19	sshサービスの指定	31
表 3.20	snmpサービスの指定	32
表 3.21	[Network Settings] 画面の操作項目	33
表 3.22	ネットワーク情報の指定	33
表 3.23	[Network Settings] 画面の表示項目	33
表 3.24	[Time Settings] 画面の操作項目	35
表 3.25	日時設定情報の指定	35
表 3.26	[Time Settings] 画面の表示項目	35
表 3.27	[SNMP Trap Settings] 画面の操作項目	36
表 3.28	SNMP Trap設定情報の指定	37
表 3.29	[SNMP Trap Settings] 画面の表示項目	39
表 3.30	[SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブでの操作項目	40
表 3.31	[Upload SSL] タブの表示項目	40
表 3.32	[SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブでの表示項目	41

表 3.33	[Maintenance] 画面の操作項目	43
表 3.34	[Power Control] での操作	44
表 3.35	[Maintenance] 画面の [CMU Maintenance] での表示項目	44
表 3.36	[Maintenance] 画面の [PSU Maintenance] での表示項目	45
表 3.37	[Maintenance] 画面の [FANU Maintenance] での表示項目	45
表 3.38	[Firmware Update] 画面の操作項目	47
表 3.39	[Firmware Update] 画面の表示項目	48
表 3.40	[Modify User] 画面の操作項目	50
表 3.41	ユーザー登録情報の変更 ([Modify User] 画面)	51
表 3.42	[Modify User] 画面の表示項目	51
表 3.43	[One Time Password] 画面の操作項目	52
表 3.44	ショートパスワードの発行	52
表 4.1	Chassis Device コマンド一覧	53
表 4.2	Get Chassis status フォーマット	55
表 4.3	Chassis Control フォーマット	56
表 4.4	OEM コマンド一覧	56
表 4.5	Set Boot Script Number フォーマット	56
表 4.6	Get Boot Script Number フォーマット	57
表 A.1	インターネット接続の場合	59
表 A.2	[インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面での指定	61
表 A.3	[定期接続スケジュール設定] 画面での指定	63
表 A.4	[お客様情報の入力] 画面での指定	64
表 A.5	[接続確認] 画面での指定	67
表 A.6	[環境詳細設定画面] での指定	70

第1章 Web GUIを使用するための環境と設定

この章では、BMCをWeb上で操作する環境を説明します。

1.1 動作環境

ここではBMCのWeb GUIの動作環境を示します。

1.1.1 OS

OSはWindows 8.1以降をサポートします。

1.1.2 ブラウザ

ブラウザは、Microsoft Internet Explorer11以降をサポートします。サポートプロトコルはhttpおよびhttpsです。

1.1.3 言語

Web GUI画面：英語

REMCS画面：英語および日本語

以下はブラウザにより表示される領域のため、OSの言語設定に依存します。

- ダイアログのタイトル
- ファイル選択欄のボタン

1.2 各種設定

ここではBMCのWeb GUIを使用するための設定を説明します。

1.2.1 ブラウザの設定

- JavaScriptを使用するため、ブラウザのJavaScriptをenableに設定します。
- ポップアップブラウザを使用するため、ブラウザのポップアップブロックを無効に設定します。
- Cookieによる認証を行うため「自動Cookie処理を上書きする」を有効に設定します。
- イン트라ネットサイトの互換表示を無効に設定します。

1.2.2 ネットワークの設定

省電力イーサネット設定を無効にする必要があります。

第2章 Web GUIの基本操作と動作

この章ではBMCを操作するWeb画面へのログインとログアウト、および画面の構成を説明します。

備考

Web GUIの画面は一例であり、HCPファームウェア版数などにより、実際の画面とは異なる可能性があります。

2.1 ログインとログアウト

ここでは、Web GUIにログイン／ログアウトする手順を説明します。
Web GUIを操作する前に、ブラウザは以下のように設定してください。

- ポップアップ : 有効
- JavaScript : 有効
- Cookie : 有効

2.1.1 ログイン

1. ブラウザを開きます。
2. ブラウザに標準またはSSLのどちらかのアドレスを入力します。

標準 : `http://nodename:adminport`

SSL : `https://nodename:adminport`

- nodename

BMCのIPアドレス (Control Port [デフォルト : DHCP]、またはMaintenance Port [デフォルト値 : 172.16.0.1/24]) を指定します。

- adminport

BMCのLAN Portに割り当てたポート番号を指定します。

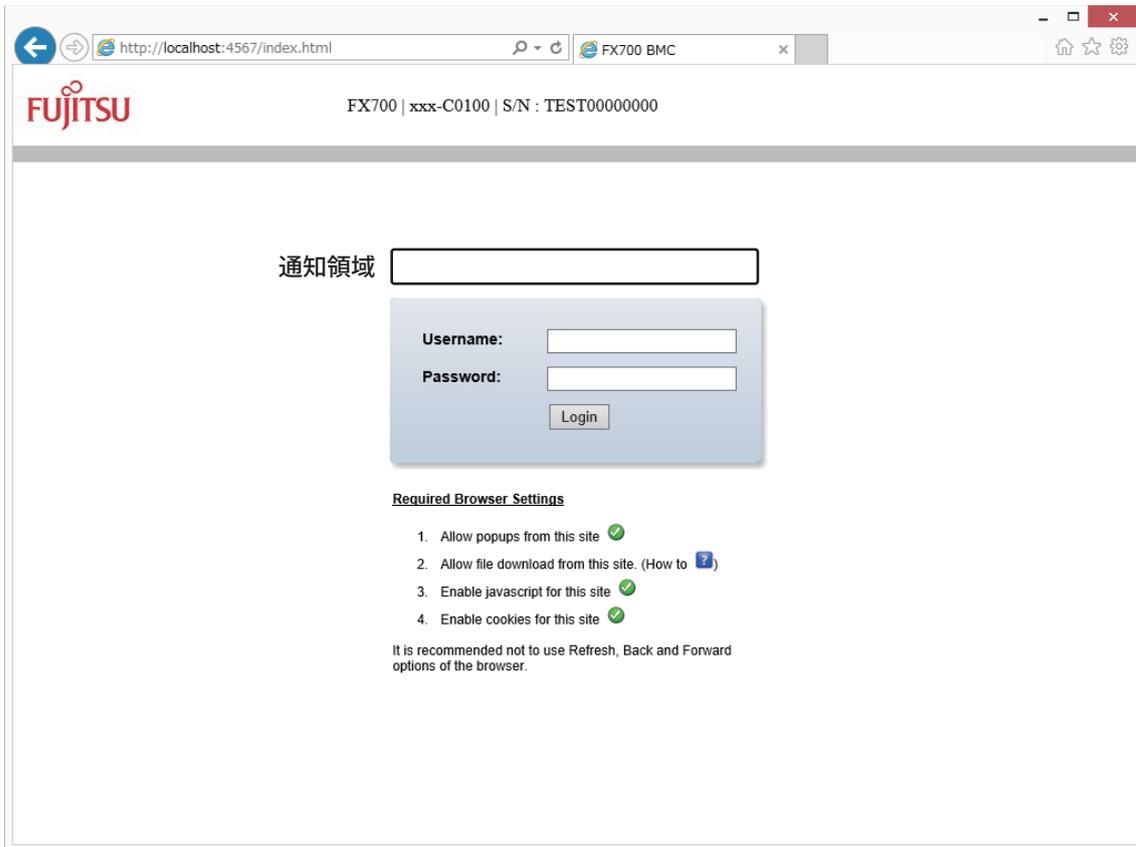
デフォルト値

標準 : 8081

SSL : 432

ログイン画面から、Web GUIにログインします。

図 2.1 ログイン画面



この画面では、以下の操作ができます。

表 2.1 ログイン画面の操作項目

操作項目	説明
Username	ログインするユーザー名を入力します（16文字以内）。
Password	パスワードを入力します（16文字以内）。
Login	クリックするとログイン処理を行います。手順は「 ログインする 」を参照してください。

ログインする

1. UsernameとPasswordを入力します。

Username : hpcmainte
Password : HPCMAINTE

2. [Login] ボタンをクリックします。

[FRU Information] 画面が表示されます。

備考

- 認証に失敗すると、ログイン画面に戻ります。
- ユーザー名またはパスワードに不備があると、エラーメッセージが表示されます。
- 同時ログイン保証数は9です。
- 30分間無操作の場合、自動ログアウトします。

- 同一PCからの複数アクセスはサポートしていません。

この画面では、以下が表示されます。

表 2.2 ログイン画面の表示項目

表示項目	表示内容
(通知領域)	ログイン認証失敗時にエラーメッセージが表示されます。エラーではない場合は空白になります。
Required Browser Settings	動作環境のチェック結果が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">- Allow popups from this site  ポップアップが可能であるかの確認結果- Allow file download from this site. (How to ) ダウンロード許可方法  をクリックするとヘルプが表示される (「ヘルプ画面」参照)- Enable javascript for this site  JavaScriptが有効であるかの確認結果- Enable cookies for this site  Cookieが有効であるかの確認結果
It is recommended not to use Refresh, Back and Forward options of the browser.	Web GUI利用時の注意事項が表示されます。

[アイコン] は次のように表示されます。

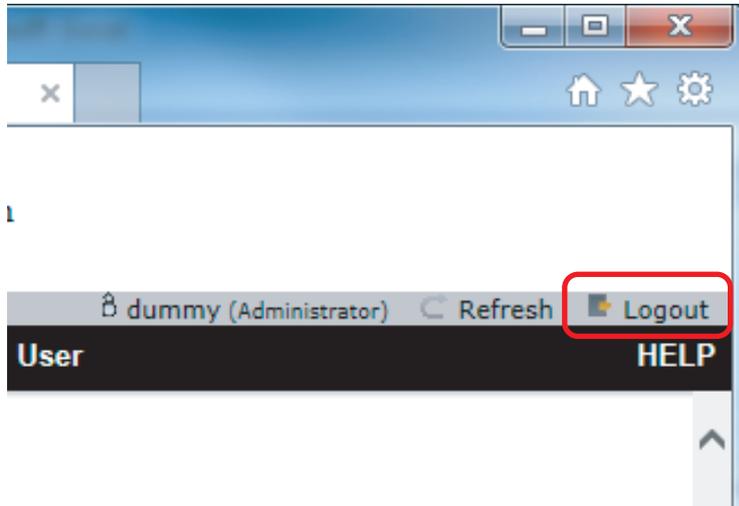
表 2.3 画面のアイコン

アイコン	意味
	OK
	NG
	ヘルプ画面を表示する

2.1.2 ログアウト

セッションを切断してログアウトします。

図 2.2 [Logout] ボタン



以下の操作ができます。

表 2.4 [Logout] ボタン

操作項目	説明
Logout	クリックするとログアウト処理を行います。手順は「 ログアウトする 」を参照してください。

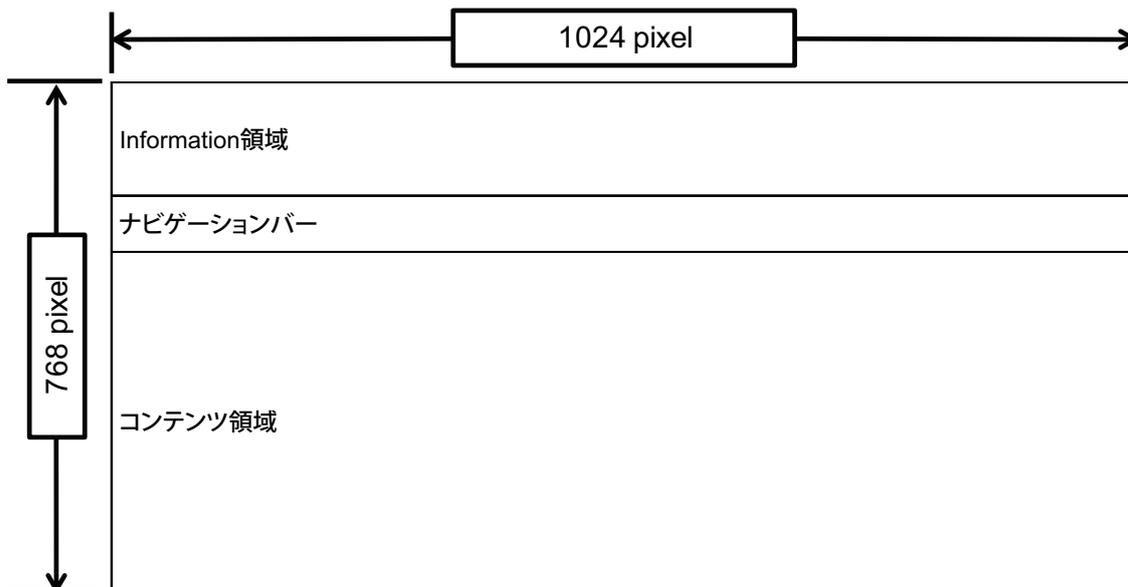
ログアウトする

1. [Logout] ボタンをクリックすると、ログアウトします。

2.2 Web GUI画面の説明

画面の構成とサイズを以下に示します。

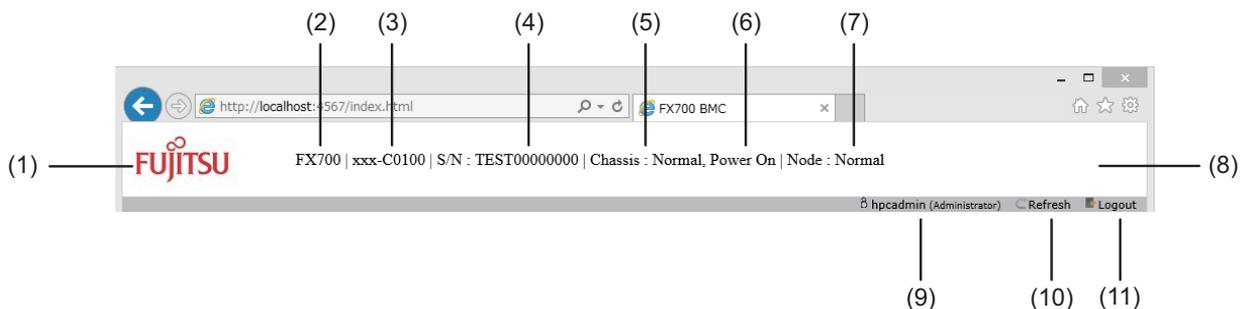
図 2.3 画面構成および画面サイズ



Information領域

この領域では、以下が表示されます。

図 2.4 Information領域



	項目名	説明	表示条件
(1)	ロゴ	Fujitsuロゴが表示されます。	
(2)	Series Name	シャーシに設定されているシリーズ名が表示されます。	
(3)	Chassis Name	シャーシに設定されているFX700本体装置名が表示されます。	常に表示されます。
(4)	Serial Number	S/N:のあとに、シャーシに設定されているシリアル番号が表示されます。	常に表示されます。

	項目名	説明	表示条件
(5)	Chassis Status	Chassis:のあとに以下のいずれかが表示されます。 - Normal - Warning - Alarm - ReservedAlarm - EPO(Emergency Power Off)	ログイン画面では非表示です。
(6)	Chassis Power Status	シャーシの電源状態が表示されます。 - Power On - Power Off	ログイン画面では非表示です。
(7)	Node Status	Node:のあとには、すべてのNodeのうち、最も重大なエラー状態が表示されます。表示の優先度は、Nodeの交換強度に従い、以下の順になります。 - RouterEAlarm(Router Emergency Alarm) - Alarm - ReservedAlarm - ResetRequest-U - ResetRequest-C - Warning - Normal	ログイン画面では非表示です。
(8)	保守状態	保守状態が表示されます。 - Cold Maintenance - Warm Maintenance 備考 保守モード設定時は、「Warm Maintenance」または「Cold Maintenance」が表示され、Information領域全体がオレンジ色で表示されます。	Maintenance状態の場合に表示されます。
(9)	ログインユーザー	ユーザー名と権限が表示されます。	ログイン画面では非表示です。
(10)	Refresh	クリックすると画面を更新します。	ログイン画面では非表示です。
(11)	Logout	クリックするとログアウトします。	ログイン画面では非表示です。

ナビゲーションバー

メニューを選択すると、「コンテンツ領域」に内容が表示されます。

コンテンツ領域

Information領域のナビゲーションバーのメニューで選択したページおよびヘルプが表示されます。

Error Statusの背景色と文字色は以下の状態を示しています。

表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の意味

状態	背景色	文字色
正常	ページの背景色	黒色
警告	黄色	黒色
異常	赤色	白色
未搭載	灰色	白色

画面情報の更新

Information領域の状態は10秒で自動更新されます。コンテンツ領域は自動更新されません。
手動で最新情報にするには以下のどちらかの操作を行います。

- [Refresh] ボタンをクリックする
- ナビゲーションバーから再度同じメニューを選択する

ヘルプ画面

ヘルプ画面は、ナビゲーションバーのHELPをクリックして表示します。
ヘルプ表示を終了する場合は、ヘルプ画面の [×] ボタンをクリックします。

第3章 Web GUIの機能

この章では、Web GUIのカテゴリと画面を示し、それぞれの機能を説明します。
HCP****という表記は、HCPファームウェアの版数を示します（****：4桁の数字）。

BMCの画面を以下に示します。

表 3.1 Web GUIの画面の一覧

カテゴリ名	画面名	権限	説明
Server Status	FRU Information	表示	各ユニットのシリアル番号／図番他表示
	CMU Information	表示	CMU/Node状態表示
System Event Logs	-	表示／操作	- snapshotの採取指示／ダウンロード - 環境ログのダウンロード - System Event Log情報の表示 - その他付帯ログの表示
Power Control	-	表示／操作	- ノードパワーオン／オフ指示 - 各ノードのステータス表示
Configuration	Chassis Settings	表示／操作	- FX700本体装置名の表示／設定 - 高度の表示／設定
	Services	表示／操作	- http/https/ssh/snmpサービス有効／無効の表示／設定 - 各サービスのポート番号の表示／設定
	Network Settings	表示／操作	- IPアドレス・ネットマスク設定／表示 - ルーティング情報設定／表示
	Time Settings	表示／操作	- 日付・時刻の設定／表示 - タイムゾーン情報の表示／設定 - NTPサーバとの同期指示 - NTPサーバの表示／設定
	SNMP Trap Settings	表示／操作	SNMP Trapの設定／表示
	SSL Certificate Configuration	表示／操作	- 署名済みWebサーバ証明書のアップロード - Webサーバの秘密鍵のアップロード - CSR内容の表示
Maintenance	Maintenance	表示／操作	- Maintenance Mode開始／終了指示 - CMU/PSUの電源操作指示
	Firmware Update	表示／操作	- カレントのファーム版数表示 - ファームウェアイメージのアップロード - ファームウェアイメージの適用
	REMCS	表示／操作	- REMCS画面の表示 - REMCSの設定
	REMCS Detail Setup	表示／操作	REMCS Detail Setup画面の表示
User	Modify User	表示／操作	- ユーザー名の表示／変更 - パスワードの変更
	One Time Password	表示／操作	One Time Passwordの発行

3.1 Server Status

このカテゴリは、主に装置のハードウェア情報を表示する機能を提供します。

3.1.1 FRU Information

[FRU Information] 画面では、各ユニットのシリアル番号、版数、異常状態、および電源状態を確認できます。

備考

- 部品が未実装の場合は「Not-Present」が表示されます。
- Web画面の背景色が示す状態については「表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の意味」を参照してください。

図 3.1 [FRU Information] 画面

This page gives detailed information for the various FRU devices present in this system.

FRU Device Name	Error Status	Part Number	Serial Number	Rev	Power Status
/CMU#00	Warning	CA07570-D103	PP143003KP	A2	On
/CMU#00/PCIECARD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#00/PCIECARD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#00/SSD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#00/SSD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#01	Normal	CA07570-D103	PP143004KP	A2	On
/CMU#01/PCIECARD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#01/PCIECARD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#01/SSD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#01/SSD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#02	Alarm	CA07570-D103	PP143005KP	A2	Off
/CMU#02/PCIECARD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#02/PCIECARD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#02/SSD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#02/SSD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#03	Normal	CA07570-D103	PP143006KP	A2	On
/CMU#03/PCIECARD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#03/PCIECARD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#03/SSD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#03/SSD#01	Normal	-	-	-	-
/BMCU#00	Normal	CA20368-B04X	PP142401UU	A2	-
/BMCIF#00	Normal	CA20368-B02X	PP142401TV	004AD	-
/FANU#00	Normal	-	-	-	-
/FANU#01	Normal	-	-	-	-
/FANU#02	Normal	-	-	-	-

[FRU Information] 画面では、以下が表示されます。

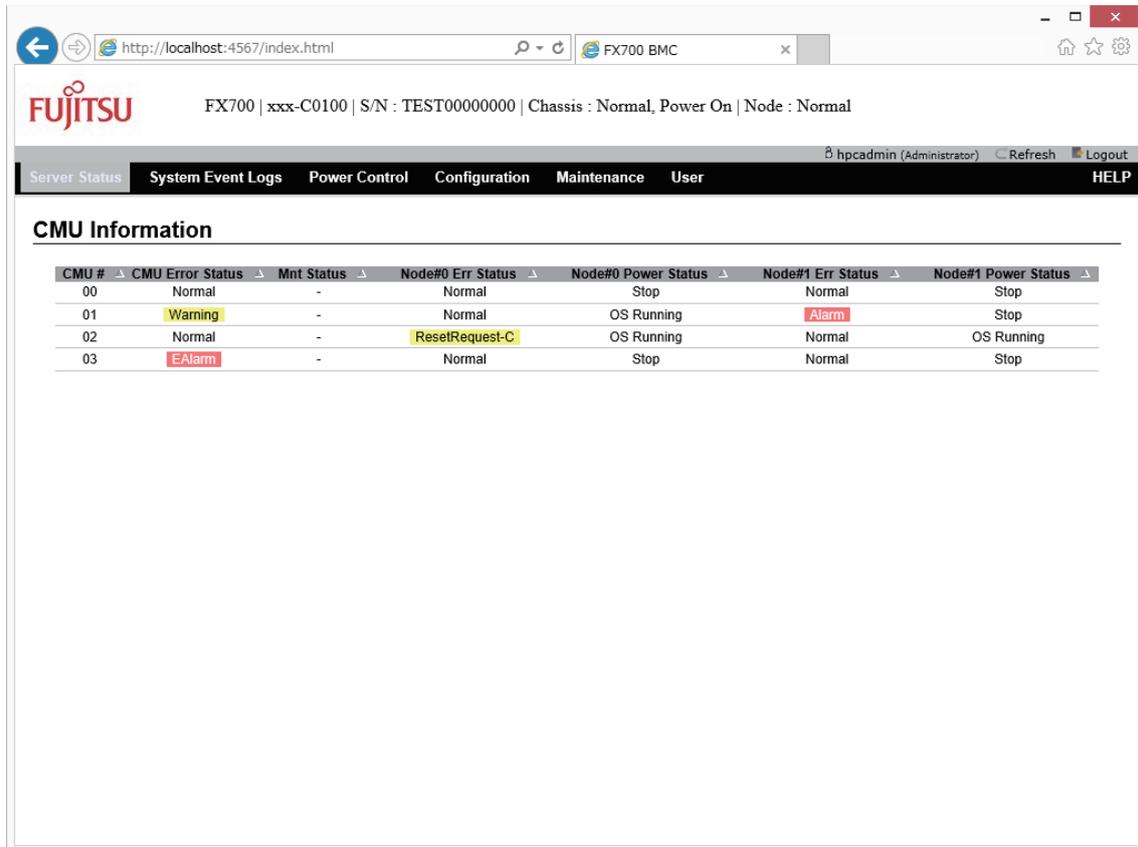
表 3.2 [FRU Information] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
FRU Device Name	FRU名が表示されます。
Error Status	FRUの稼働状態が表示されます。 - Normal (正常) - Warning (警告) - Alarm (異常) - EAlarm (異常) - AC-Lost (異常) - Not-Present (未搭載) - Unknown (正常) (Error Statusの取得失敗時に表示されます) 状態を示す背景色の表示については「 表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の意味 」を参照してください。 備考 FRUが未搭載 (Not-Present) またはUnknownの場合、Part Number以降は「—」が表示され、グレーアウトします。
Part Number	FRU (CMU、BMCU、BMCIF) の部品番号が表示されます。
Serial Number	FRU (CMU、BMCU、BMCIF) のシリアル番号が表示されます。
Rev	FRU (CMU、BMCU、BMCIF) の版数が表示されます。
Power Status	電源状態が表示されます。

3.1.2 CMU information

[CMU Information] 画面では、CMUの故障情報、メンテナンス状態、およびCMU内でのノードの稼働状態を確認できます。

図 3.2 [CMU Information] 画面



[CMU Information] 画面では、以下が表示されます。

表 3.3 [CMU Information] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
CMU #	CMU番号が表示されます。
CMU Error Status	<p>CMUの稼働状態が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - Normal（正常） - Warning（警告） - Alarm（異常） - EAlarm（異常） - Not-Present（未搭載） - Unknown（正常）（Error Statusの取得失敗時に表示されます） <p>状態を示す背景色の表示については「表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の意味」を参照してください。</p>
Mnt Status	<p>メンテナンス状態が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - On : Warm Maintenance中 - - : 上記以外 - Unknown : Mnt Statusの取得失敗時に表示されます。

表 3.3 [CMU Information] 画面の表示項目 (続き)

表示項目	表示内容
Node#0 Err Status	<p>CMU内Node#0 (CPU#0側のノード) の稼働状態が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - Normal (正常) - Warning (警告) - ReservedAlarm (異常) - ResetRequest-C (警告) - Alarm (異常) - RouterEAlarm (異常) - ResetRequest-U (異常) - Unknown (正常) (Error Statusの取得失敗時に表示されます) <p>状態を示す背景色の表示については「表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の意味」を参照してください。</p>
Node#0 Power Status	<p>CMU内Node#0 (CPU#0側のノード) の稼働状態が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - Stop - Reset - POST - OS Booting - OS Running - OS Shutdown - OS Panic - UEFI Shell - Unknown (Error Statusの取得失敗時に表示されます)
Node#1 Err Status	<p>CMU内Node#1 (CPU#1側のノード) の稼働状態が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - Normal (正常) - Warning (警告) - ReservedAlarm (異常) - ResetRequest-C (警告) - Alarm (異常) - RouterEAlarm (異常) - ResetRequest-U (異常) - Unknown (正常) (Error Statusの取得失敗時に表示されます) <p>状態を示す背景色の表示については「表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の意味」を参照してください。</p>

表 3.3 [CMU Information] 画面の表示項目 (続き)

表示項目	表示内容
Node#1 Power Status	CMU内Node#1 (CPU#1側のノード) の稼働状態が表示されます。 - Stop - Reset - POST - OS Booting - OS Running - OS Shutdown - OS Panic - UEFI Shell - Unknown (正常) (Error Statusの取得失敗時に表示されます)

3.2 System Event Logs

[System Event Logs] 画面では、装置で発生したイベントを確認できます。また、表示されたイベントログをダブルクリックすることで、詳細を確認できます。

図 3.3 [System Event Logs] 画面

System Event Logs

Events generated by the system will be logged here. Double-click on a record to see the Detail.

Snapshot Files:

No.	File Path	Time Stamp
0	/logs/snapshot0.zip	05/08/2014 02:53:57
1	-	-
2	-	-

Environment Logs:

To download the environment logs, select the Node and Log Type, then click "Download" button.

Node#: Log Type:

Event type Filter:

Select the event types below to indicate and push Filter button to apply the new selection. Only the events matching all of the following selection will be indicated on this webpage.

Node#: All
 Specified 00 01 02 03
 04 05 06 07
 Chassis

Status: All
 Specified EAlarm Alarm Warning Normal -

FRU: All
 Specified CMU#00 CMU#01 CMU#02 CMU#03
 CUPFW IOCABLE SSD FANU
 BMCU PSU BMCIF ENVIRONMENT

FRUE: All
 Specified MEM CPU

Logs:

Event Log: 3000 event entries, 15 page(s)

Node #	Log ID	Time Stamp	Status	Occurred	FRU	FRUE	Msg
-	0x6A3	03/26/2015 17:05:37	-	-	-	-	[CMU#1 Mainte] Not Maintenance
-	0x6A2	03/26/2015 16:49:27	-	-	-	-	[CMU#1 Mainte] Warm System Maintenance
06	0x256	03/26/2015 16:32:47	Normal	03/26/2015 16:32:40	/CMU#03, /CMU#03	/CPU#00/MEM#00, /CPU#00	CMU Node Monitoring-only Correctable Error
01	0x1E8	03/26/2015 14:14:03	EAlarm	03/26/2015 14:13:58	/CMU#00	/CPU#01	CMU Node Fatal Error
11	0x255	03/26/2015 13:02:57	-	-	-	-	[Node Status] OS Running
01	0x1E7	03/26/2015 13:02:55	-	-	-	-	[Node Status] OS Running
03	0x25E	03/26/2015 13:02:55	-	-	-	-	[Node Status] OS Running
07	0x24C	03/26/2015 13:02:55	-	-	-	-	[Node Status] OS Running
05	0x258	03/26/2015 13:02:53	-	-	-	-	[Node Status] OS Running
00	0x255	03/26/2015 13:02:52	-	-	-	-	[Node Status] OS Running
04	0x24F	03/26/2015 13:02:50	-	-	-	-	[Node Status] OS Running
08	0x253	03/26/2015 13:02:49	-	-	-	-	[Node Status] OS Running
10	0x24D	03/26/2015 13:02:36	-	-	-	-	[Node Status] OS Running
02	0x26C	03/26/2015 13:02:11	-	-	-	-	[Node Status] OS Running
06	0x250	03/26/2015 13:01:57	-	-	-	-	[Node Status] OS Running
11	0x254	03/26/2015 13:00:25	-	-	-	-	[Node Status] OS Booting
01	0x1E6	03/26/2015 13:00:23	-	-	-	-	[Node Status] OS Booting
03	0x25D	03/26/2015 13:00:23	-	-	-	-	[Node Status] OS Booting
07	0x24B	03/26/2015 13:00:22	-	-	-	-	[Node Status] OS Booting
05	0x257	03/26/2015 13:00:21	-	-	-	-	[Node Status] OS Booting
00	0x254	03/26/2015 13:00:19	-	-	-	-	[Node Status] OS Booting
04	0x24E	03/26/2015 13:00:18	-	-	-	-	[Node Status] OS Booting
08	0x252	03/26/2015 13:00:17	-	-	-	-	[Node Status] OS Booting
10	0x24C	03/26/2015 13:00:06	-	-	-	-	[Node Status] OS Booting

[System Event Logs] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.4 [System Event Logs] 画面の操作項目

操作項目	説明
Collect	スナップショットを採取します。手順は「 スナップショットを採取する 」を参照してください。
Download	環境ログをダウンロードします。手順は「 環境ログをダウンロードする 」を参照してください。
Filter	指定したフィルター条件でイベントの一覧を再表示します。手順は「 指定したフィルター条件でイベントの一覧を再表示する 」を参照してください。

スナップショットを採取する

Snapshotはハードウェア故障の詳細調査時に使用されます。

Snapshot採取時には、最寄りのFujitsuサービスセンターに「[表 3.5 採取するスナップショットの指定](#)」を問い合わせください。

注意

- スナップショット採取には時間がかかります。また、スナップショットの採取中には、新たなスナップショットの採取はできません。

参考

- [System Event Logs] 画面には、最新から3000件までのイベントが表示されます。すべてのイベントを確認する場合は、スナップショットを採取してファイルをダウンロードしてください。

1. [Collect] ボタンをクリックします。

Snapshot採取ダイアログボックスが表示されます。

図 3.4 snapshot採取ダイアログ

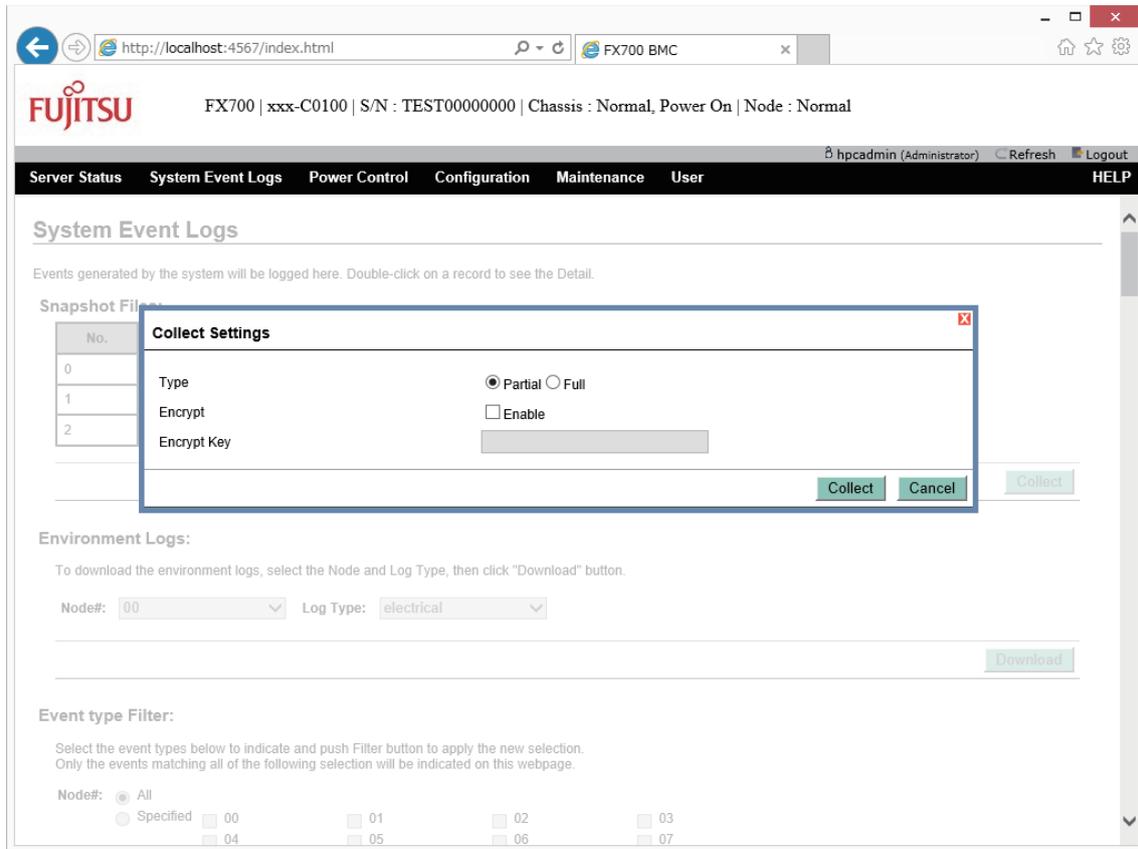


表 3.5 採取するスナップショットの指定

入力項目	説明
Type	採取する種別を指定します。 - Partial - Full
Encrypt	暗号化する場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Encrypt Key	[Encrypt] で [Enable] チェックボックスをオンにした場合に、1~63文字の半角英数字と以下の半角記号で暗号化キーを指定します。 !#\$%*+,-./:;=?@[^_{}~

2. 採取する種別、暗号化の有無などを指定し、[OK] ボタンをクリックします。
実行結果ダイアログボックスが表示されます。
3. [OK] ボタンをクリックします。
[System Event Logs] 画面に戻ります。
4. [Snapshot Files:] の [File Path] で、ダウンロードするスナップショットファイルをクリックします。

環境ログをダウンロードする

1. [Environment Logs:] で、ダウンロードする環境ログを指定します。

表 3.6 ダウンロード対象とする環境ログの指定

入力項目	説明
Node#	環境ログのダウンロード対象とするノードを指定します。
Log Type	環境ログのダウンロード対象種別を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> - electrical (電源部品の電圧/電流ログ、またはPSU電圧、電流関連ログ) - environment (電源部品の温度ログ、またはPSU温度、FAN情報ログ) - inlet thermal (吸気温度ログ。シャーシのみ指定可)

2. [Download] ボタンをクリックします。
確認ダイアログボックスが表示されます。
3. [OK] ボタンをクリックします。
環境ログがダウンロードされ、[System Event Logs] 画面に戻ります。

指定したフィルター条件でイベントの一覧を再表示する

[System Event Logs] 画面の [Logs:] には、登録されているイベントログのうち、最新から3000件までが表示されます。フィルター機能を使用すると、[System Event Logs] 画面の [Logs:] に表示されている3000件のイベントログから、指定したフィルター条件を満たすものを抽出できます。

1. フィルター条件を指定します。

表 3.7 Event type Filterのフィルター条件

入力項目	説明
Node#	フィルター条件 (Node) を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> - All - Specified (00~07およびChassisを選択可能)
Status	フィルター条件 (Status) を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> - All - Specified (EAlarm、Alarm、Warning、Normal、- (ハイフン) を選択可能)
FRU	フィルター条件 (FRU) を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> - All - Specified (CMU#00、CMU#01、CMU#02、CMU#03、CPUFW、IOCABLE、SSD、FANU、BMCU、PSU、BMCIF、ENVIRONMENTを選択可能)
FRUE	フィルター条件 (FRUE) を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> - All - Specified (CPU、MEMを選択可能)

2. [Filter] ボタンをクリックします。
イベントの一覧が再表示されます。

[System Event Logs] 画面の [Logs:] では、以下が表示されます。1画面に表示されるのは200件までです。前後の画面は、以下をクリックして表示します。

- [>]: 1つ後ろの画面
- [>>]: 最終画面
- [<]: 1つ前の画面
- [<<]: 先頭画面

表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目

表示項目	表示内容
Node #	<p>イベントの登録元（ノードまたはシャーシ）が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 00~07：ノード番号 - -（ハイフン）：シャーシ <p>また、[Status]に応じたアイコンが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - EAlarm：  - Alarm：  - Warning：  - Normal：  - [Status]が-（ハイフン）の場合、アイコンなし
Log ID	<p>ログの登録順を示すログIDが16進数で表示されます。</p>
Time Stamp	<p>スナップショットが採取されたローカルタイムの日時が「MM/DD/YYYY hh:mm:ss」の形式で表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - MM：月 - DD：日 - YYYY：年 - hh：時 - mm：分 - ss：秒
Status	<p>FRUの交換強度が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - EAlarm：対応する被疑部品の使用を即時停止し、FRUの即時交換が必要な状態 - Alarm：対応する被疑部品の使用をジョブ完了後に停止したのち、FRUの即時交換が必要な状態 - Warning：対応する被疑部品の使用は継続できるが、FRUの計画的な保守交換が必要な状態 - Normal：交換が不要な状態
Occurred	<p>エラーが発生したローカルタイムの日時が「MM/DD/YYYY hh:mm:ss」の形式で表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - MM：月 - DD：日 - YYYY：年 - hh：時 - mm：分 - ss：秒 <p>エラーが発生していない場合は、-（ハイフン）が表示されます。</p>

表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目 (続き)

表示項目	表示内容
FRU (交換ユニット)	<p>被疑ユニットが「第1被疑ユニット,<改行>第2被疑ユニット」の形式で2つまで表示されます。エラーログがなく、被疑ユニットがない場合は、- (ハイフン) が表示されます。また、第2被疑ユニットがない場合は、第2被疑ユニットは表示されません。</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 第1被疑ユニットのみの場合 : /CMU#00 - 第2被疑ユニットまでである場合 : /CMU#00, /Chassis (/CMU#00が第1被疑ユニット、/Chassisが第2被疑ユニットを示します)
FRUE (交換ユニットの故障箇所)	<p>第1被疑ユニット、第2被疑ユニット内のそれぞれの被疑箇所が「第1被疑箇所,<改行>第2被疑箇所」の形式で2つまで表示されます。エラーログがなく、被疑箇所がない場合は、- (ハイフン) が表示されます。また、第2被疑箇所がない場合は、第2被疑箇所は表示されません。</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 第1被疑箇所のみの場合 : /CPU#00 - 第2被疑箇所までである場合 : /CPU#00, /SBC_N#00 (/CPU#00が第1被疑ユニットの被疑箇所、/SBC_N#00が第2被疑ユニットの被疑箇所を示します)
Msg	メッセージが表示されます。

[System Event Logs] 画面の [Logs:] で特定のイベントログをダブルクリックすると、そのイベントの詳細が詳細ダイアログボックスに表示されます。

図 3.5 詳細ダイアログボックス

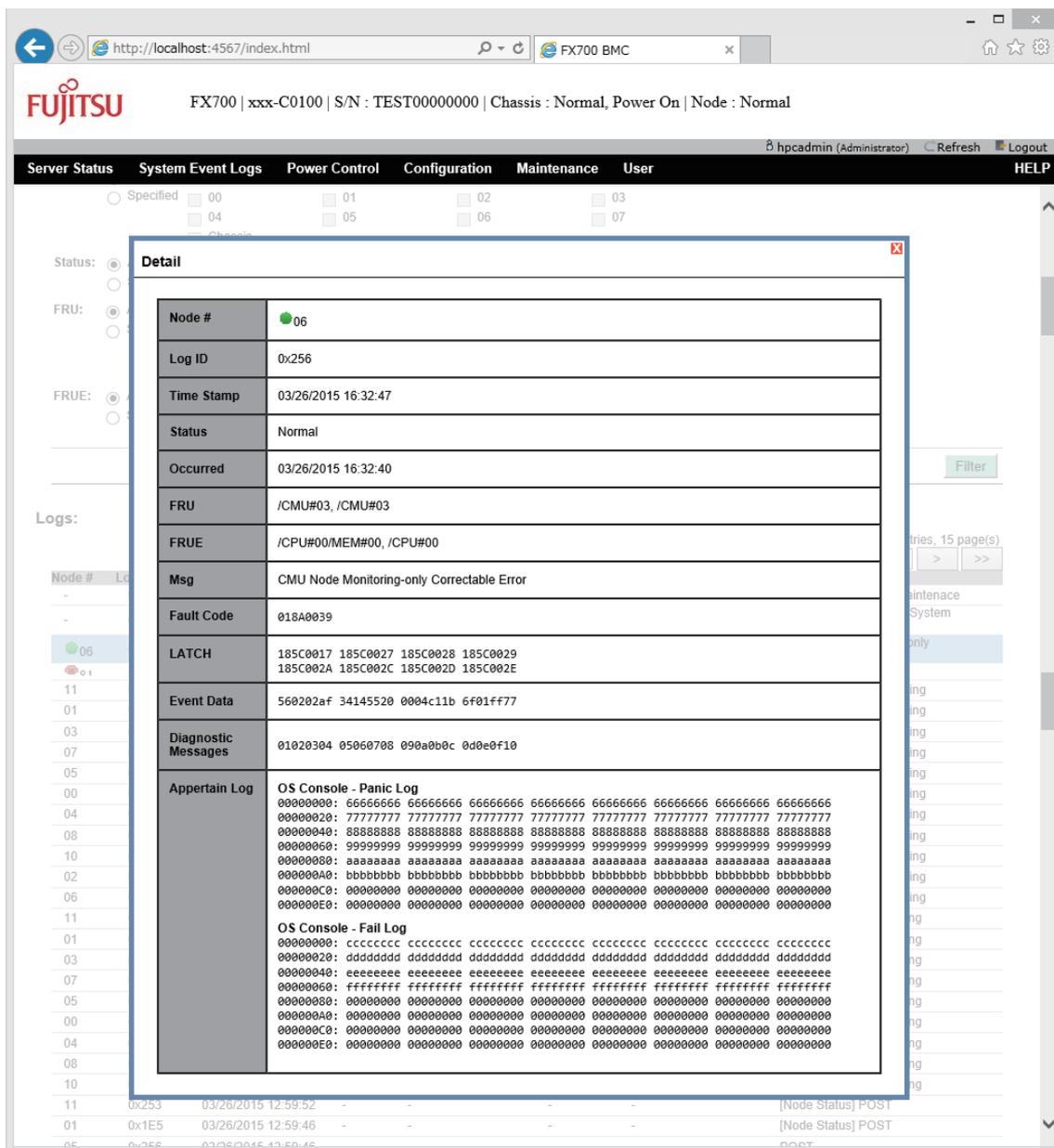


表 3.9 詳細ダイアログボックスの表示項目

表示項目	表示内容
Node #	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
Log ID	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
Time Stamp	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
Status	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
Occurred	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
FRU	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
FRUE	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
Msg	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。

表 3.9 詳細ダイアログボックスの表示項目 (続き)

表示項目	表示内容
Fault Code	詳細コード
LATCH	詳細コード
Event Data	詳細コード
Diagnostic Messages	詳細コード
Appertain Log	詳細コード

3.3 Power Control

[Power Control] 画面では、ノードの電源状態を確認したり制御したりできます。

図 3.6 [Power Control] 画面

The screenshot shows the 'Power Control' section of the web GUI. It includes a navigation menu with 'Power Control' selected. Below the menu, there is a 'Node Power Control' section with instructions to select a power control option for one or more nodes. A checkbox for 'Power On All' is present. The main content is a table with columns for Node#, Error Status, Running Status, Maintenance Status, Power Control, and Boot Script Number. The table lists nodes 00 through 07 with their respective statuses and power control options. An 'Apply' button is located at the bottom right of the table area.

Node#	Error Status	Running Status	Maintenance Status	Power Control	Boot Script Number
00	Not-Present	-	-	(Not specified) ▾	Force boot into EFI Boot Manager ▾
01	Not-Present	-	-	(Not specified) ▾	Force boot into EFI Boot Manager ▾
02	-	POST	-	(Not specified) ▾	Force boot into EFI Boot Manager ▾
03	-	OS Booting	-	(Not specified) ▾	Force boot into EFI Boot Manager ▾
04	-	OS Running	-	(Not specified) ▾	Force boot into EFI Boot Manager ▾
05	-	OS Shutdown	-	(Not specified) ▾	Force boot into EFI Boot Manager ▾
06	W	OS Panic	-	(Not specified) ▾	Force boot into EFI Boot Manager ▾
07	A	UEFI Shell	-	(Not specified) ▾	Force boot into EFI Boot Manager ▾

現在の状態 (Error Status、Running Status、Maintenance Status) を確認する場合は、[Refresh] ボタンをクリックして、画面を再読み込みしてください。再読み込み後、[Boot Script Number] の項目は、Force boot into EFI Boot Manager表示となります。
[Power Control] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.10 [Power Control] 画面の操作項目

操作項目	説明
Apply	ノードの電源状態を変更します。手順は「 ノードの電源状態を変更する 」を参照してください。

ノードの電源状態を変更する

- [Power Control] および [Boot Script Number] に、ノードに対する電源制御と起動モードをそれぞれ指定します。

表 3.11 電源制御と起動モードの指定

入力項目	説明
Power On All	[Power On All] チェックボックスをオンにした場合、電源がオフ状態のノードの [Power Control] に [Power On] が指定されます。 いったんオンにした [Power On All] チェックボックスをオフに戻した場合、電源がオフ状態のノードの [Power Control] が [(Not specified)] に戻ります。
Power Control	ノードに対する電源制御を指定します。 ノードの電源がオフの場合 - Power On : 電源オンを指示する - (Not specified) : 何もしない ノードの電源がオンの場合 - Stop : ノードを停止状態にする - Reset : ノードのOSを再起動する - Dump Request : OSダンプ採取を指示する - OS Shutdown : ノードのOSを停止する - (Not specified) : 何もしない
Boot Script Number	ノードの起動モードを指定します。 - 00h : DISKブート - 01h : 非サポート - 02h : OSインストール用 - Force boot into EFI Boot Manager : ブートせずにUEFIで停止 - Auto select Boot Script Number : DISKブートを自動的に選択

- [Apply] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

- [OK] ボタンをクリックします。

ノードの電源状態が変更され、[Power Control] 画面に戻ります。FX700本体装置にHCPファームウェア版数:HCP1500以降が適用されている場合、設定した起動モードはノードごとに保持され、BMCのリセット後、および電源ケーブル挿抜実施後も保持されます。保持されている起動モードを確認するには、Get Boot Script Numberコマンド（[4.1 コマンド一覧表](#) 参照）を使用してください。

注意：保持された起動モードは、フロントパネルの電源ボタンの短押し、およびChassis Control コマンド（[4.1 コマンド一覧表](#) 参照）を使用したPower On時にも適用されます。

[Power Control] 画面では、以下が表示されます。

表 3.12 [Power Control] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
Node#	ノード番号 (00~07) が表示されます。
Error Status	ノードのエラー状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - Normalの場合 : - (ハイフン) (正常) - ResetRequest-Uの場合 : RR-U (異常) - ResetRequest-Cの場合 : RR-C (警告) - Warningの場合 : W (警告) - ReservedAlarmの場合 : R (異常) - Alarmの場合 : A (異常) - RouterEAlarmの場合 : EA (異常) - Error Statusの取得に失敗した場合 : Unknown (正常) - CMUが未搭載の場合 : Not-Present (未搭載) 状態を示す背景色の表示については「 表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の意味 」を参照してください。
Running Status	ノードの稼働状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - Stop - Reset - POST - UEFI Shell - OS Booting - OS Running - OS Panic - OS Shutdown - Unknown (Running Statusの取得失敗) - - (CMUが未搭載)
Maintenance Status	ノード (該当のCMU) のメンテナンス状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - On : Warm Maintenance中 - - : 上記以外 - Unknown : Maintenance Statusの取得失敗
Power Control	ノードに対する電源制御方法が表示されます。
Boot Script Number	ノードの起動モードが表示されます。

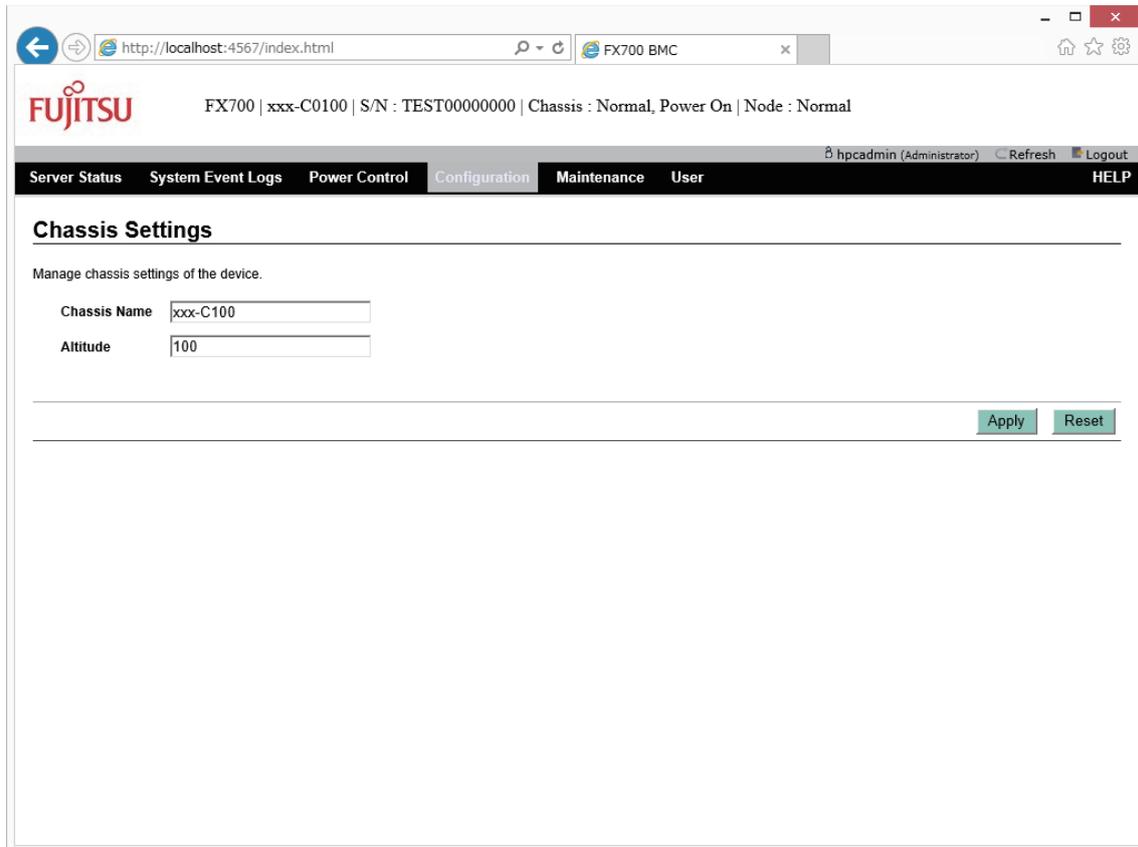
3.4 Configuration

このカテゴリでは、FX700本体装置の設定に関する機能が提供されます。

3.4.1 Chassis Settings

[Chassis Settings] 画面では、FX700本体装置名および高度を確認したり設定したりできます。

図 3.7 [Chassis Settings] 画面



[Chassis Settings] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.13 [Chassis Settings] 画面の操作項目

操作項目	説明
Apply	FX700本体装置情報を変更します。手順は「 FX700本体装置情報を変更する 」を参照してください。
Reset	現在設定されているFX700本体装置情報に戻します。

FX700本体装置情報を変更する

1. [Chassis Name] および [Altitude] に、FX700本体装置名および高度をそれぞれ指定します。

表 3.14 FX700本体装置名と高度の指定

入力項目	説明
Chassis Name	FX700本体装置名を1~63文字の英数字、ハイフン、ピリオドで指定します。 ハイフンとピリオドは、先頭と最後尾の文字には指定できません。 入力時に元の名称が表示されている場合は、削除します。
Altitude	高度を0~3000で指定します。 設定した値は100 m単位になります。 入力時に元の高度が表示されている場合は、削除します。

2. [Apply] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

備考

- 現在設定されているFX700本体装置情報に戻す場合は、[Apply] ボタンの代わりに [Reset] ボタンをクリックします。

3. [OK] ボタンをクリックします。

FX700本体装置情報が変更され、[Chassis Settings] 画面に戻ります。

[Chassis Settings] 画面では、以下が表示されます。

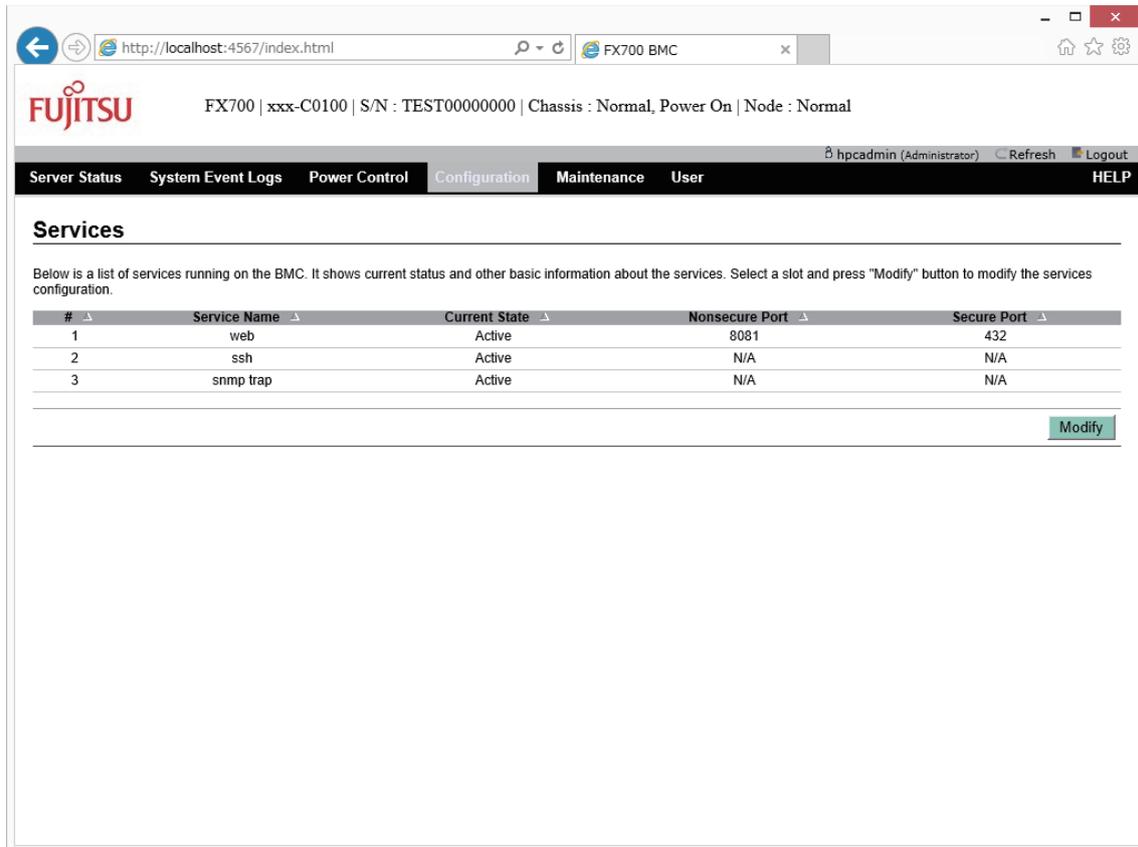
表 3.15 [Chassis Settings] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
Chassis Name	FX700本体装置名が表示されます。
Altitude	高度が表示されます。

3.4.2 Services

[Services] 画面では、web、ssh、snmpの各サービスの有効/無効とポート番号を確認できます。また、webサービスのポート番号、sshサービスの有効/無効、snmpサービスの有効/無効をそれぞれ変更できます。

図 3.8 [Services] 画面



[Services] 画面では、以下が表示されます。

表 3.16 [Services] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
Service Name	サービス名が表示されます。
Current Status	サービスの設定状態が表示されます。 - Active : 有効 - Inactive : 無効 - N/A : 設定値なし
Nonsecure Port	接続ポート番号が表示されます (webのみ表示)。
Secure Port	接続ポート番号が表示されます (webのみ表示)。

[Services] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.17 [Chassis Settings] 画面の操作項目

操作項目	説明
Modify	<ul style="list-style-type: none"> - webサービスのポート番号を変更します。手順は「webサービスのポート番号を変更する」を参照してください。 - sshサービスの有効/無効を変更します。手順は「sshサービスの有効/無効を変更する」を参照してください。 - snmpサービスの有効/無効およびポート番号を変更します。手順は「snmpサービスの有効/無効を変更する」を参照してください。

webサービスのポート番号を変更する

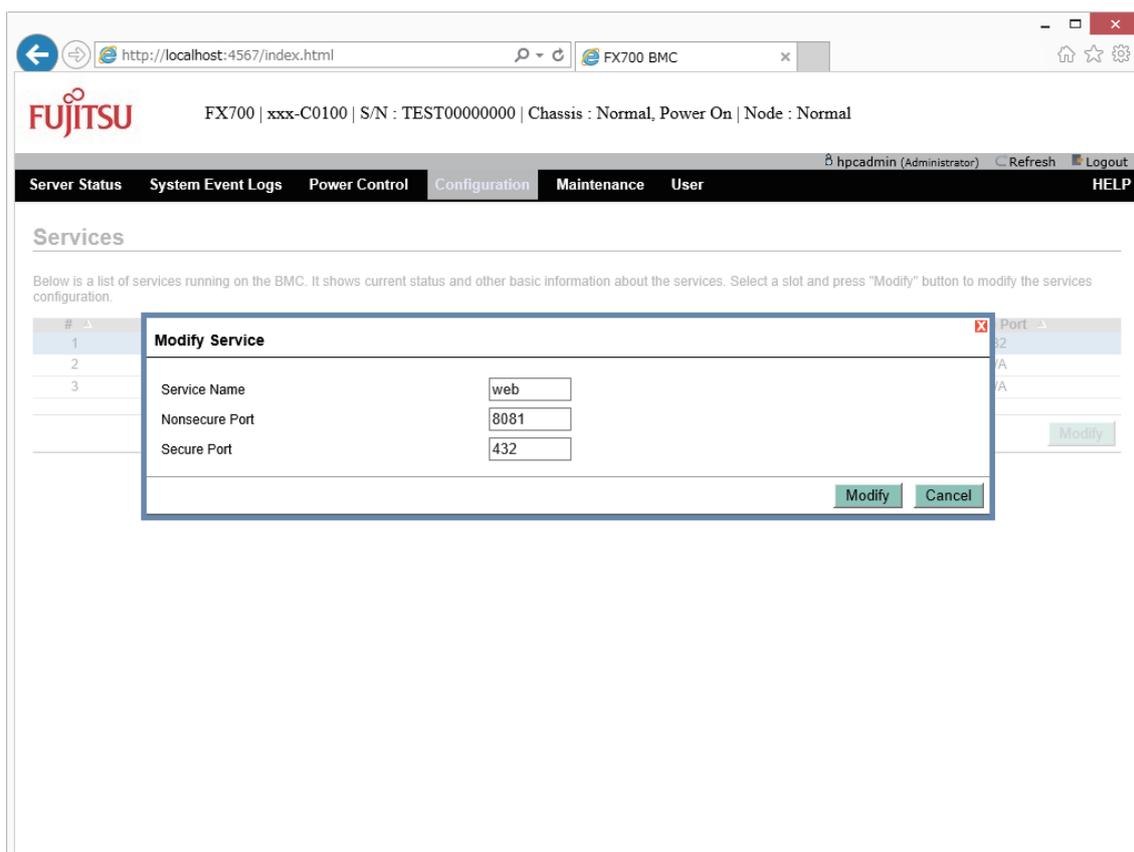
1. [Service Name] がwebの行を選択し、[Modify] ボタンをクリックします。

webサービス変更ダイアログボックスが表示されます。

備考

- webの行をダブルクリックすることでも、webサービス変更ダイアログボックスを表示できます。

図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス



2. [Nonsecure Port] および [Secure Port] にポート番号をそれぞれ指定します。

表 3.18 webサービスの指定

表示／入力項目	説明
Service Name	webサービス名が表示されます。
Nonsecure Port	http接続ポート番号を1~65535で指定します。デフォルトのポート番号は8081です。
Secure Port	https接続ポート番号を1~65535で指定します。デフォルトのポート番号は432です。

- [Modify] ボタンをクリックします。
実行確認ダイアログボックスが表示されます。
- [OK] ボタンをクリックします。
現在のセッションが切断され、再ログインを促す画面が表示されます。

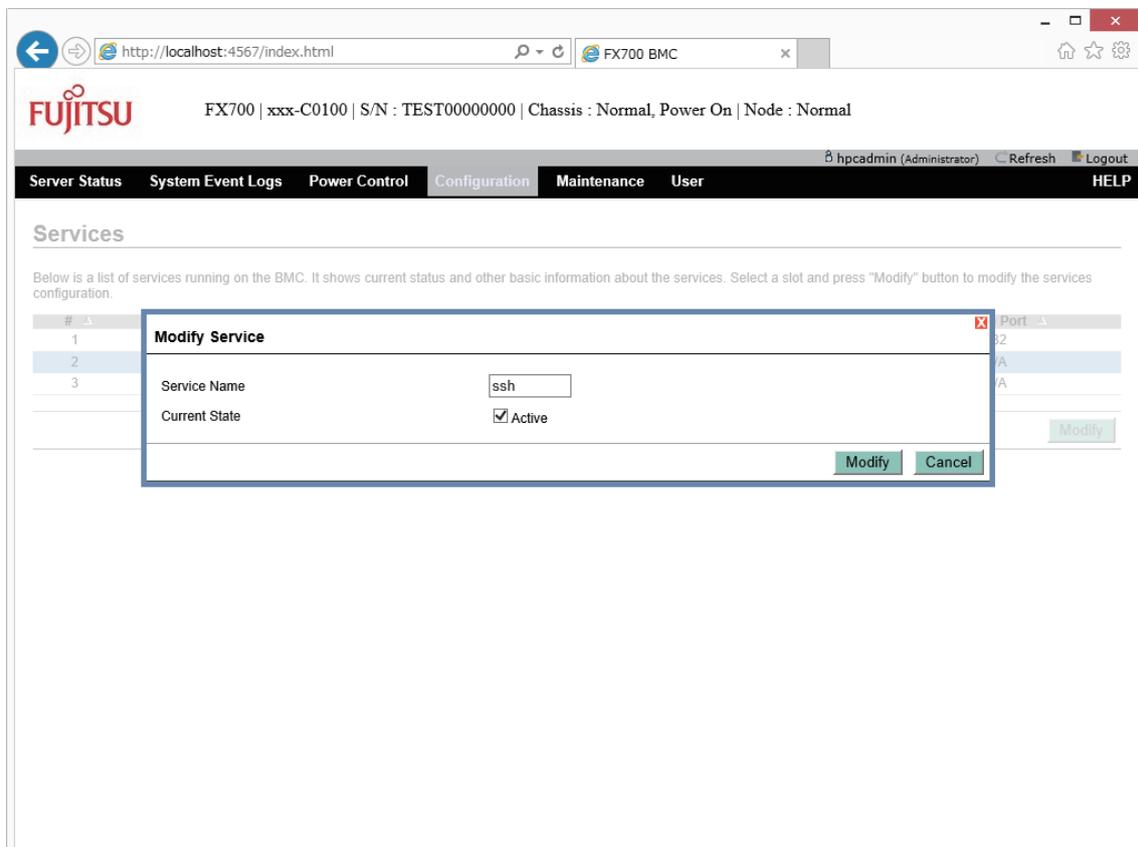
sshサービスの有効／無効を変更する

- [Service Name] がsshの行を選択し、[Modify] ボタンをクリックします。
sshサービス変更ダイアログボックスが表示されます。

備考

- sshの行をダブルクリックすることでも、sshサービス変更ダイアログボックスを表示できます。

図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス



- sshサービスの有効／無効を指定します。

表 3.19 sshサービスの指定

表示/入力項目	説明
Service Name	sshサービス名が表示されます。
Current State	sshサービスを有効にする場合は、[Active] チェックボックスをオンにします。

- [Modify] ボタンをクリックします。
実行確認ダイアログボックスが表示されます。
- [OK] ボタンをクリックします。
[Services] 画面に戻ります。

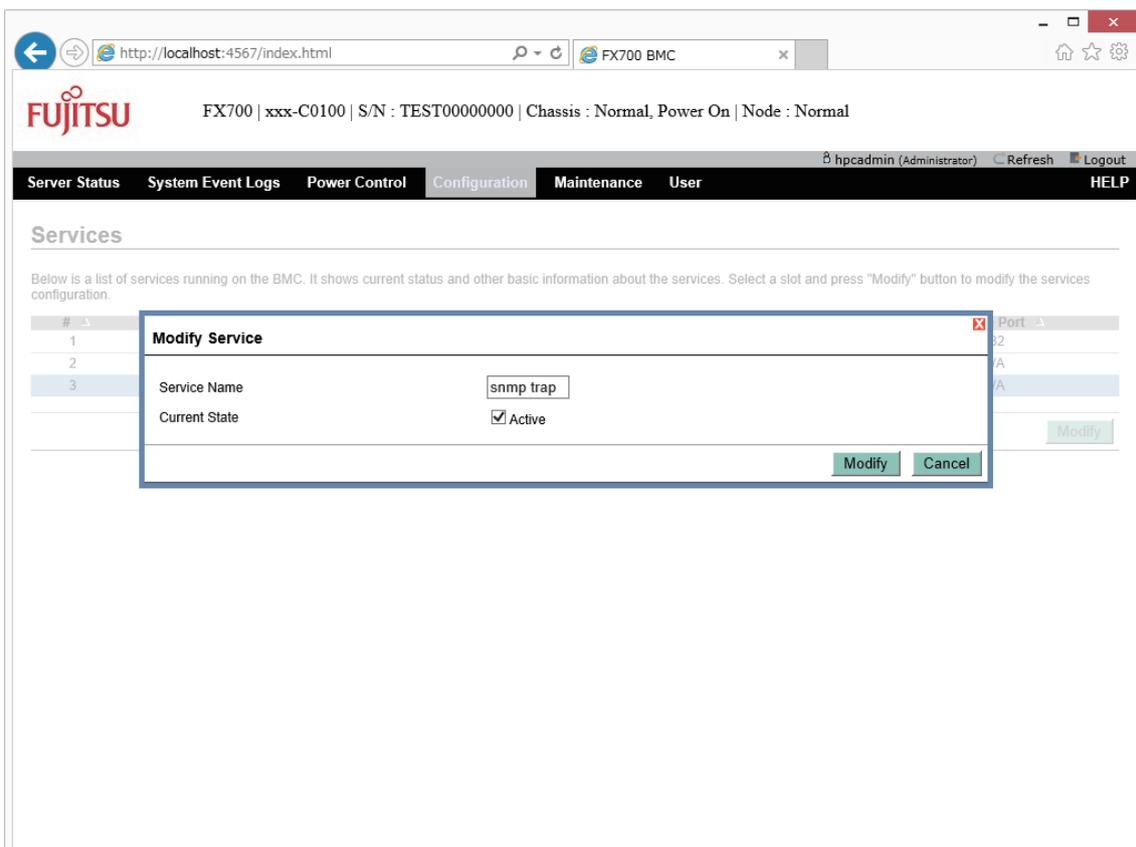
snmpサービスの有効/無効を変更する

- [Service Name] がsnmpの行を選択し、[Modify] ボタンをクリックします。
snmpサービス変更ダイアログボックスが表示されます。

備考

- snmpの行をダブルクリックすることでも、snmpサービス変更ダイアログボックスを表示できます。

図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス



- snmpサービスの有効/無効を指定します。

表 3.20 snmpサービスの指定

表示／入力項目	説明
Service Name	snmpサービス名が表示されます。
Current Status	snmpサービスを有効にする場合は、[Active] チェックボックスをオンにします。

- [Modify] ボタンをクリックします。
実行確認ダイアログボックスが表示されます。
- [OK] ボタンをクリックします。
[Services] 画面に戻ります。

3.4.3 Network Settings

[Network Settings] 画面では、ネットワークの設定内容を確認したり変更したりできます。

図 3.12 [Network Settings] 画面

The screenshot shows a web browser window with the URL `http://localhost:4567/index.html`. The page header includes the Fujitsu logo and system information: `FX700 | xxx-C0100 | S/N : TEST00000000 | Chassis : Normal, Power On | Node : Normal`. The navigation menu includes `Server Status`, `System Event Logs`, `Power Control`, `Configuration` (selected), `Maintenance`, and `User`. The main content area is titled `Network Settings` and contains the following sections:

- Control Port Configuration**
 - LAN Settings: Enable, MAC Address: `00:66:77:88:99:aa`
 - Use DHCP: Enable
 - IPv4 Address: `192.168.1.102`
 - Subnet Mask: `255.255.255.0`
 - Default Gateway: `0.0.0.0`
- Maintenance Port Configuration**
 - LAN Settings: Enable, MAC Address: `00:11:22:33:44:55`
 - IPv4 Address: `172.16.0.1`
 - Subnet Mask: `255.255.255.0`
 - Default Gateway: `0.0.0.0`

[Network Settings] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.21 [Network Settings] 画面の操作項目

操作項目	説明
Apply	ネットワーク情報を変更します。手順は「 ネットワーク情報を変更する 」を参照してください。
Reset	現在設定されているネットワーク情報に戻します。

ネットワーク情報を変更する

- [Control Port Configuration] または [Maintenance Port Configuration] の各項目を指定します。

注意

- [Control Port Configuration] または [Maintenance Port Configuration] のどちらか一方の項目を変更します。同時に両方のポートの項目を変更することはできません。
- Default Gatewayは [Control Port Configuration] または [Maintenance Port Configuration] のどちらか一方でのみ設定してください。

表 3.22 ネットワーク情報の指定

表示／入力項目	説明
LAN Settings	ポートを有効にする場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
MAC Address	MACアドレスが表示されます。
Use DHCP (Control Portのみ)(*1)	DHCPを有効にする場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
IPv4 Address	IPアドレスをxxx.xxx.xxx.xxxの形式で指定します。xxxは0から255までの値です。
Subnet Mask	サブネットマスクをxxx.xxx.xxx.xxxの形式で指定します。xxxは0から255までの値です。
Default Gateway	デフォルトゲートウェイのIPアドレスをxxx.xxx.xxx.xxxの形式で指定します。xxxは0から255までの値です。

*1: Use DHCPの項目はHCP 1600以前では表示されません。

- [Apply] ボタンをクリックします。

実行確認ダイアログボックスが表示されます。

備考

- 現在設定されているネットワーク情報に戻す場合は、[Apply] ボタンの代わりに[Reset] ボタンをクリックします。

- [OK] ボタンをクリックします。

現在のセッションが切断され、再ログインを促す画面が表示されます。

[Network Settings] 画面では、以下が表示されます。

表 3.23 [Network Settings] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
LAN Settings	ポートの有効／無効が表示されます。ポートが有効な場合は、[Enable] チェックボックスがオンになります。
MAC Address	MACアドレスが表示されます。

表 3.23 [Network Settings] 画面の表示項目 (続き)

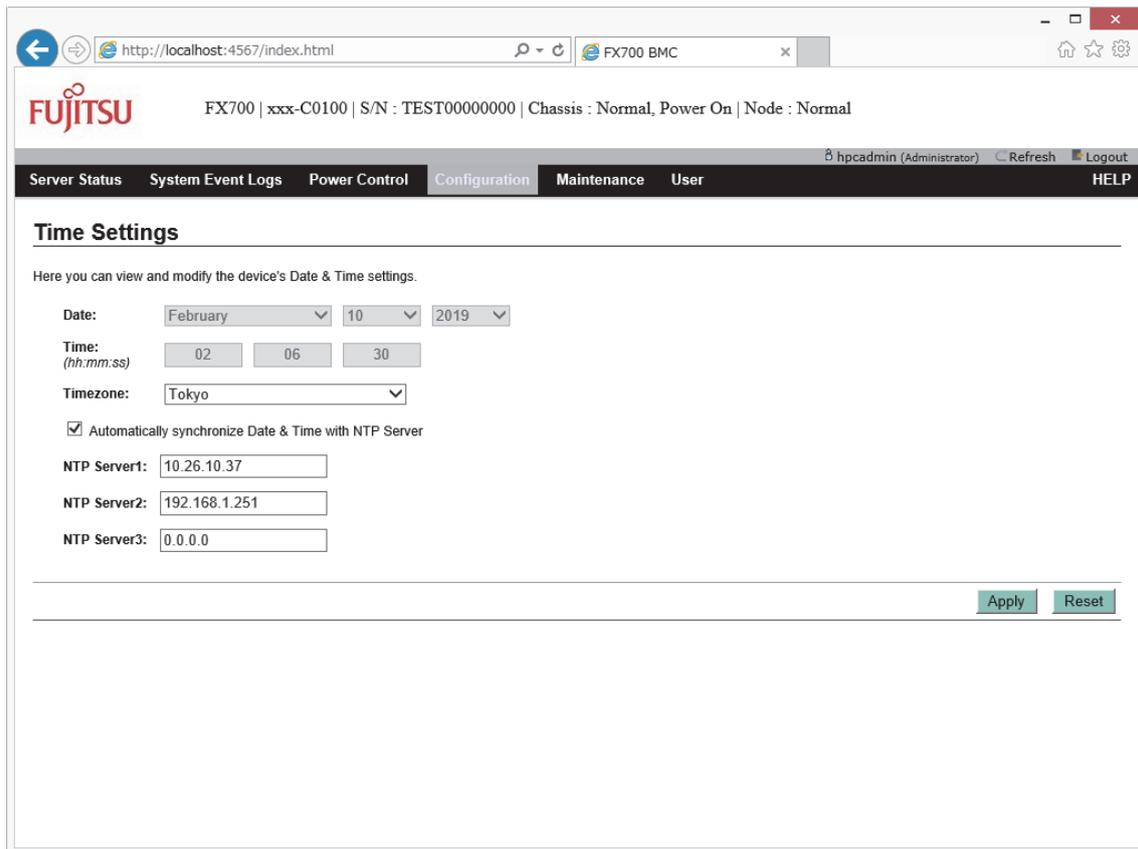
表示項目	表示内容
Use DHCP (Control Portのみ)(*1)	DHCPの有効／無効が表示されます。DHCPが有効な場合は、[Enable] チェックボックスがオンになります。
IPv4 Address	IPアドレスが表示されます。
Subnet Mask	サブネットマスクが表示されます。
Default Gateway	デフォルトゲートウェイのIPアドレスが表示されます。

*1: Use DHCPの項目はHCP 1600以前では表示されません。

3.4.4 Time Settings

[Time Settings] 画面では、FX700本体装置に設定されている日付および時刻を確認したり変更したりできます。

図 3.13 [Time Settings] 画面



[Time Settings] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.24 [Time Settings] 画面の操作項目

操作項目	説明
Apply	日時設定情報を変更します。手順は「 日時設定情報を変更する 」を参照してください。
Reset	現在設定されている日時設定情報に戻します。

日時設定情報を変更する

- [Date:]、[Time:]、[Timezone:]などの各項目を指定します。

表 3.25 日時設定情報の指定

入力項目	説明
Date:	月、日、年の順で日付を指定します。
Time:	時、分、秒の順で時刻を指定します。
Timezone:	タイムゾーンを指定します。
Automatically synchronize Date & Time with NTP Server	NTPサーバへの自動同期を設定する場合は、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、[NTP Server1:] ~ [NTP Server3:]が表示されます。
NTP Server1:	NTPサーバのIPアドレスを指定します。 NTPサーバを設定しない場合は「0.0.0.0」を指定します。
NTP Server2:	
NTP Server3:	

- [Apply] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

備考

- 現在設定されている日時設定情報に戻す場合は、[Apply] ボタンの代わりに[Reset] ボタンをクリックします。

- [OK] ボタンをクリックします。

日時情報が設定され、[Time Settings] 画面に戻ります。

[Time Settings] 画面では、以下が表示されます。

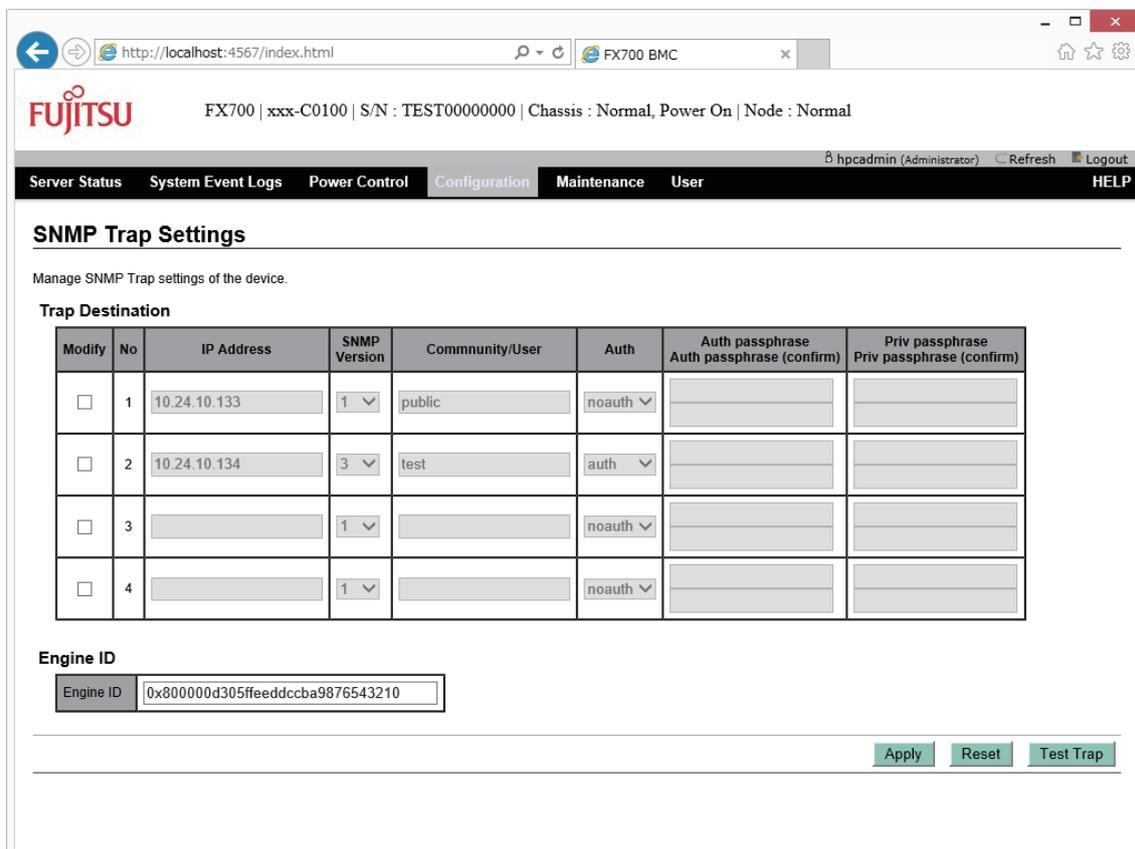
表 3.26 [Time Settings] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
Date:	月、日、年の順で日付が表示されます。
Time:	時、分、秒の順で時刻が表示されます。
Timezone:	タイムゾーンが表示されます。
Automatically synchronize Date & Time with NTP Server	NTPサーバへの自動同期が設定されている場合、チェックボックスがオンになっています。また、[NTP Server1:] ~ [NTP Server3:]が表示されます。
NTP Server1:	NTPサーバのIPアドレスが表示されます。
NTP Server2:	
NTP Server3:	

3.4.5 SNMP Trap Settings

[SNMP Trap Settings] 画面では、SNMP Trapの設定内容を確認したり変更したりできます。

図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面



[SNMP Trap Settings] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.27 [SNMP Trap Settings] 画面の操作項目

操作項目	説明
Apply	SNMP Trap設定情報を変更します。手順は「 SNMP Trap設定情報を変更する 」を参照してください。
Reset	現在設定されているSNMP Trap設定情報に戻します。
Test Trap	設定されているすべてのTrap送信先にTest Trapを送信します。手順は、「 Test Trapを送信する 」を参照してください。

SNMP Trap設定情報を変更する

1. 設定情報を変更する送信先のチェックボックスをオンにします。
2. [Community/User]、[IP Address]、[SNMP Version] などの各項目を指定します。

表 3.28 SNMP Trap設定情報の指定

入力項目	説明
IP Address	SNMP Trap送信先のIPアドレスをxxx.xxx.xxx.xxxの形式で指定します。xxxは0から255までの値です。
SNMP Version	SNMP Versionを指定します。
Community/User	<ul style="list-style-type: none"> - SNMP v1、v2の場合は、SNMP Communityストリングを1~32文字で指定します。 - SNMP v3の場合は、User名を1~32文字で指定します。 - 英数字のみ使用できます。
Auth	<p>セキュリティレベルを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - noauth : 認証機能を利用しない - auth : 認証機能を利用する - priv : 認証機能およびプライバシー機能（データの暗号化）を利用する
Auth passphrase	<p>[Auth] でauthまたはprivを指定した場合、認証用パスワードを8~32文字の英数字または以下の文字で指定します。</p> <p>!"#\$%&'()-^~¥@`[]{}:*;+?<.>/_ </p>
Auth passphrase (confirm)	[Auth passphrase] と同じ認証用パスワードを指定します。
Priv passphrase	<p>[Auth] でprivを指定した場合、暗号化用パスワードを8~32文字の英数字または以下の文字で指定します。</p> <p>!"#\$%&'()-^~¥@`[]{}:*;+?<.>/_ </p>
Priv passphrase (confirm)	[Priv passphrase] と同じ暗号化パスワードを指定します。

表 3.28 SNMP Trap設定情報の指定 (続き)

入力項目	説明
Engine ID	<p>16進数表記で、先頭に"0x"を付けた32文字以内で指定してください。また、SNMPv3仕様に従って「"0x"+"先頭bit1を付与した企業番号（16進数8文字）"+"識別番号"+"ユニークな値（16進数で最大20文字以内）」を指定してください。</p> <p><企業番号> Internet Assigned Numbers Authority (IANA) のenterprise numberを示します。企業番号が211（16進数表記で0x000000d3）の場合、先頭1bitを付与した"0x800000d3"を指定してください。</p> <p><識別番号> 「03」または「05」を指定します。</p> <p><ユニークな値> ユニークな値は、識別番号によって異なります。 - 「03」の場合：MACアドレスを指定します。Control PortのMACアドレス(コロン(:)を除く12文字)を使用することを推奨します。MACアドレスは、BMC Web画面の [Configuration] - [Network Settings] から確認できます。 - 「05」の場合：任意のユニークな値として、16進数表記の最大20文字を指定します。 - 16進数表記以外の英字は設定しないでください。</p> <p>入力例を以下に示します。 - MAC Address（例：1A:2B:3C:4D:5E:6F）を指定する場合は、 「0x800000d3031a2b3c4d5e6f」を入力する - 任意の値（例：0xffeeddccba9876543210）を指定する場合は、 「0x800000d305ffeeddccba9876543210」を入力する</p>

備考

- 既存のSNMP Trap設定情報を無効にする場合は、「IP Address」を削除します。

- [Apply] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

備考

- 現在設定されているSNMP Trap設定情報に戻す場合は、[Apply] ボタンの代わりに [Reset] ボタンをクリックします。

- [OK] ボタンをクリックします。

SNMP Trap設定情報が変更され、[SNMP Trap Settings] 画面に戻ります。

Test Trapを送信する

- [Test Trap] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。

設定しているすべてのTrap送信先にTest Trapが送信されます。

[SNMP Trap Settings] 画面では、以下が表示されます。

表 3.29 [SNMP Trap Settings] 画面の表示項目

表示項目	説明
IP Address	SNMP Trap送信先のIPアドレスが表示されます。
SNMP Version	SNMP Versionが表示されます。
Community/User	SNMP v1、v2の場合はSNMP Communityストリング、SNMP v3の場合はUser名が表示されます。
Auth	セキュリティレベルが表示されます。 - noauth : 認証機能を利用しない - auth : 認証機能を利用する - priv : 認証機能およびプライバシー機能（データの暗号化）を利用する
Auth passphrase	[Auth] でauthまたはprivを指定した場合、認証用パスワードが表示されます。
Auth passphrase (confirm)	
Priv passphrase	[Auth] でprivを指定した場合、暗号化用パスワードが表示されます。
Priv passphrase (confirm)	
Engine ID	Engine IDが表示されます。

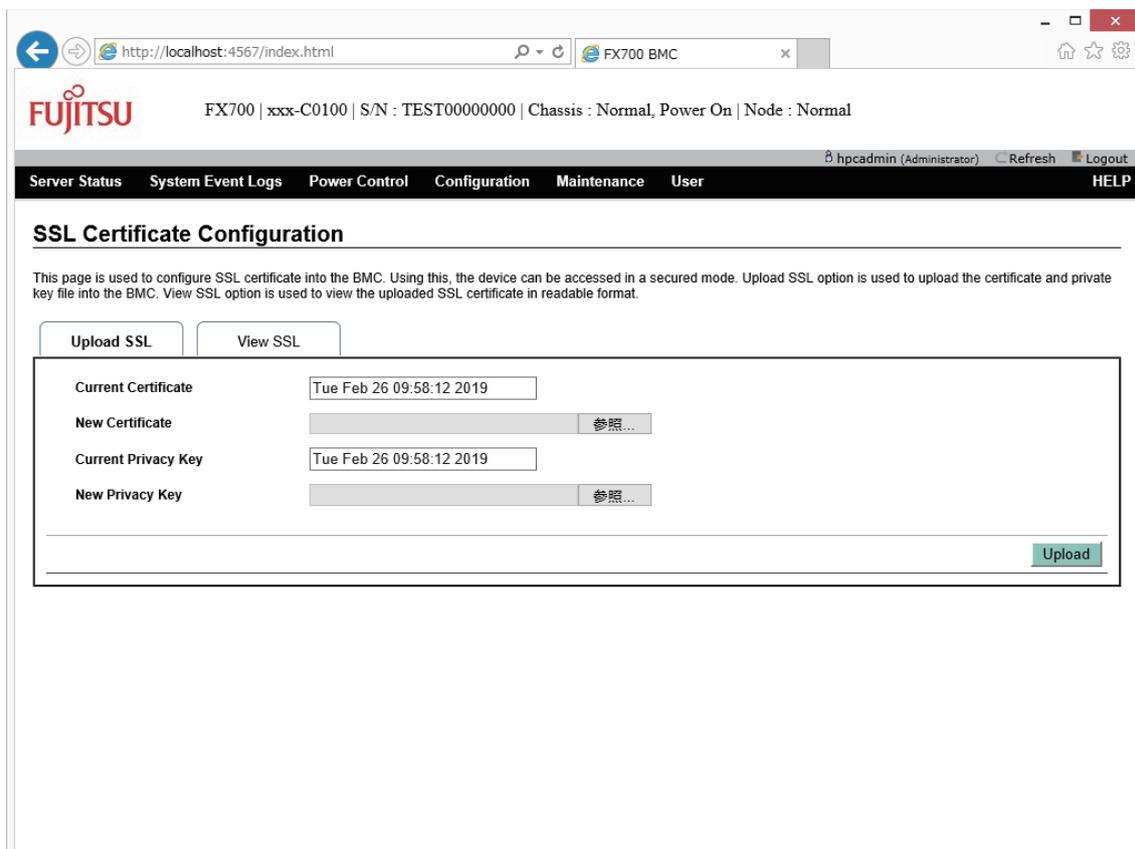
3.4.6 SSL Certificate Configuration

[SSL Certificate Configuration] 画面では、インストールされているSSL証明書の登録内容を確認できます。また、外部機関によって発行されたSSL証明書をアップロードすることもできます。

注意

- デフォルト状態では、BMCにhttps接続できません。http接続によって、BMCでSSL証明書をアップロードすることで、https接続が可能になります。

図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ



[SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブでは、以下の操作ができます。

表 3.30 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブでの操作項目

操作項目	説明
Upload	SSL証明書をアップロードします。手順は「 SSL証明書をアップロードする 」を参照してください。

SSL証明書をアップロードする

- [Upload SSL] タブをクリックし、[New Certificate] および [New Privacy Key] にファイルを指定します。

表 3.31 [Upload SSL] タブの表示項目

表示／入力項目	説明
Current Certificate	現在適用されている証明書のファイルのタイムスタンプが表示されます。
New Certificate	アップロードする証明書のファイル（拡張子：.pem）を指定します。
Current Privacy Key	現在適用されている証明書に使用する秘密鍵のファイルのタイムスタンプが表示されます。
New Privacy Key	アップロードする証明書に使用する秘密鍵のファイル（拡張子：.pem）を指定します。

- [Upload] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

アップロードしたSSL証明書を反映するため、ログアウトされます。

[SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブでは、以下が表示されます。

図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ

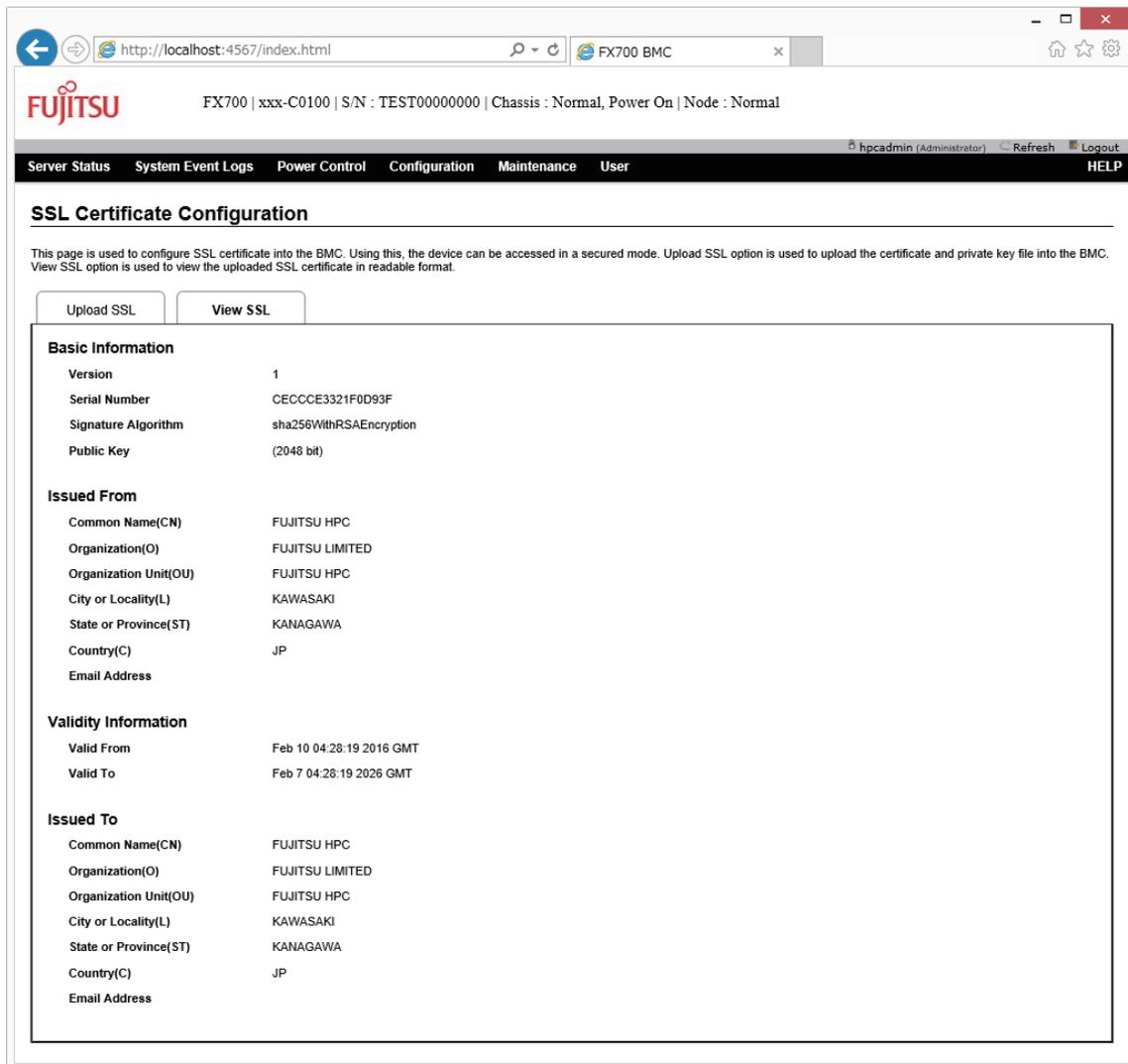


表 3.32 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブでの表示項目

表示項目	説明
Basic Information	X.509の基本情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - Version : バージョン - Serial Number : シリアル番号 - Signature Algorithm : 公開鍵アルゴリズム - Public Key : 発行要求者の公開鍵

表 3.32 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブでの表示項目 (続き)

表示項目	説明
Issued From	発行要求者の情報が表示されます。 - Common Name (CN) : サイト名 - Organization (O) : 部門名 - Organization Unit (OU) : 組織名 - City or Locality (L) : 市町村名 - State or Province (ST) : 都道府県名 - Country (C) : 国名 - Email Address : メールアドレス
Validity Information	有効期間情報が表示されます。 - Valid From : 有効期間開始 - Valid To : 有効期間終了
Issued To	発行者の情報が表示されます。 - Common Name (CN) : サイト名 - Organization (O) : 部門名 - Organization Unit (OU) : 組織名 - City or Locality (L) : 市町村名 - State or Province (ST) : 都道府県名 - Country (C) : 国名 - Email Address : メールアドレス

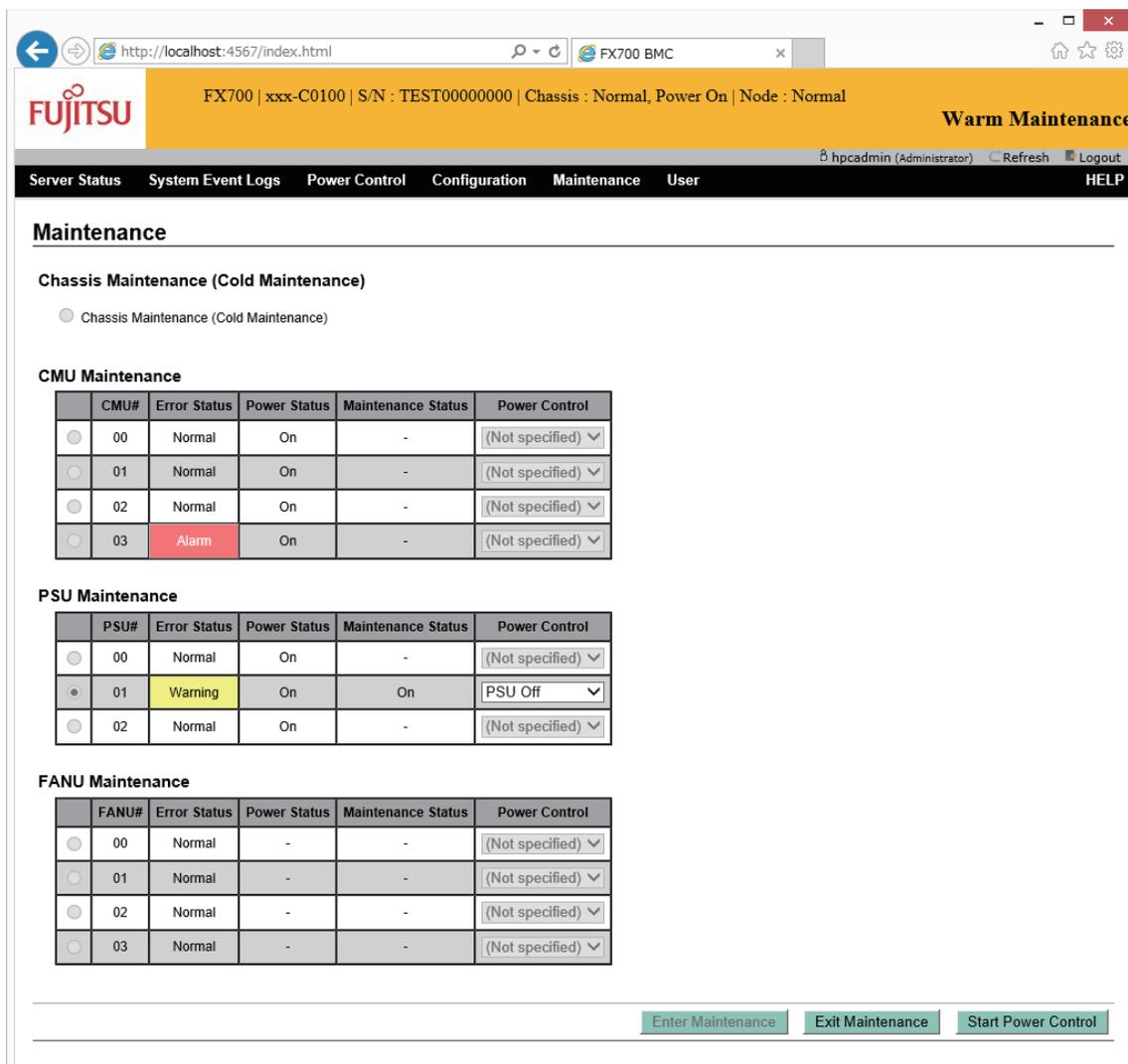
3.5 Maintenance

このカテゴリでは、FX700本体装置の保守に関する機能が提供されます。

3.5.1 Maintenance

[Maintenance] 画面では、FX700本体装置全体またはFRU単位で、保守部品を交換する際に保守状態に移行したり、保守状態を解除したりします。

図 3.17 [Maintenance] 画面



[Maintenance] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.33 [Maintenance] 画面の操作項目

操作項目	説明
Enter Maintenance	保守状態に移行します。手順は「 保守状態に移行する 」を参照してください。
Exit Maintenance	保守状態を解除します。手順は、「 保守状態を解除する 」を参照してください。
Power Control	保守状態であるCMUまたはPSUの電源操作指示を実行します。手順は、「 電源操作を実行する 」を参照してください。

保守状態に移行する

1. 保守状態にするFX700本体装置またはFRUのラジオボタンをオンにします。

注意

- 保守状態に移行するためにオンにできるラジオボタンは、[Chassis Maintenance (Cold Maintenance)]、[CMU Maintenance]、[PSU Maintenance]、[FANU Maintenance] のいずれかで1つだけです。
- 停止状態での部品交換は、Chassis Maintenance (Cold Maintenance) を選択してください。Node稼

働状態での活性交換は、それぞれのFRUのラジオボタンを選択してください。

2. [CMU Maintenance] または [PSU Maintenance] のラジオボタンをオンにした場合は、必要に応じて [Power Control] で電源操作を指定します。

表 3.34 [Power Control] での操作

入力項目	説明
CMU Maintenance	CMUへの電源操作を指定します。 - Both Node Off - Both Node On - (Not Specified)
PSU Maintenance	PSUへの電源操作を指定します。 - PSU Off - PSU On - (Not Specified)

注意

- FANUで故障が発生している場合、CMUのメンテナンスモードは設定できません。FANU交換を先に実施してください。詳しくは、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 アップグレード&メンテナンスマニュアル』の「4.1.3 メンテナンスモードの注意事項」を参照してください。

3. [Enter Maintenance] ボタンをクリックします。

保守状態に移行します。

電源操作を実行する

1. 「[保守状態に移行する](#)」を参照して、保守状態に移行します。
2. [Start Power Control] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

電源操作が実行されます。

保守状態を解除する

1. 保守作業後に、[Refresh] ボタンをクリックして画面の表示を更新します。
2. [Exit Maintenance] ボタンをクリックします。

保守状態が解除されます。

[Maintenance] 画面では、以下が表示されます。

表 3.35 [Maintenance] 画面の [CMU Maintenance] での表示項目

表示項目	表示内容
CMU#	CMU番号が表示されます。

表 3.35 [Maintenance] 画面の [CMU Maintenance] での表示項目 (続き)

表示項目	表示内容
Error Status	CMUの故障状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - Normal - Warning - Alarm - EAlarm - Not-Present - Unknown (Error Statusの取得失敗)
Power Status	CMUの電源状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - On - Off - Unknown (Power Statusの取得失敗)
Maintenance Status	保守設定状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - On : Warm Maintenance中 - - : 上記以外 - Unknown : Maintenance Statusの取得失敗
Power Control	保守状態が設定されたCMUへの電源操作指示が表示されます。

表 3.36 [Maintenance] 画面の [PSU Maintenance] での表示項目

表示項目	表示内容
PSU#	PSU番号が表示されます。
Error Status	PSUの故障状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - Normal - Warning - Alarm - EAlarm - Not-Present - Unknown (Error Statusの取得失敗)
Power Status	PSUの電源状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - On - Off - Unknown (Power Statusの取得失敗)
Maintenance Status	保守設定状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - On : Warm Maintenance中 - - : 上記以外 - Unknown : Maintenance Statusの取得失敗
Power Control	保守状態が設定されたPSUへの電源操作指示が表示されます。

表 3.37 [Maintenance] 画面の [FANU Maintenance] での表示項目

表示項目	表示内容
FANU#	FANU番号が表示されます。

表 3.37 [Maintenance] 画面の [FANU Maintenance] での表示項目 (続き)

表示項目	表示内容
Error Status	FANUの故障状態が表示されます。 - Normal - Alarm - Not-Present - Unknown (Error Statusの取得失敗)
Power Status	- (未使用)
Maintenance Status	保守設定状態が表示されます。 - On : Warm Maintenance中 - - : 上記以外 - Unknown : Maintenance Statusの取得失敗
Power Control	- (未使用)

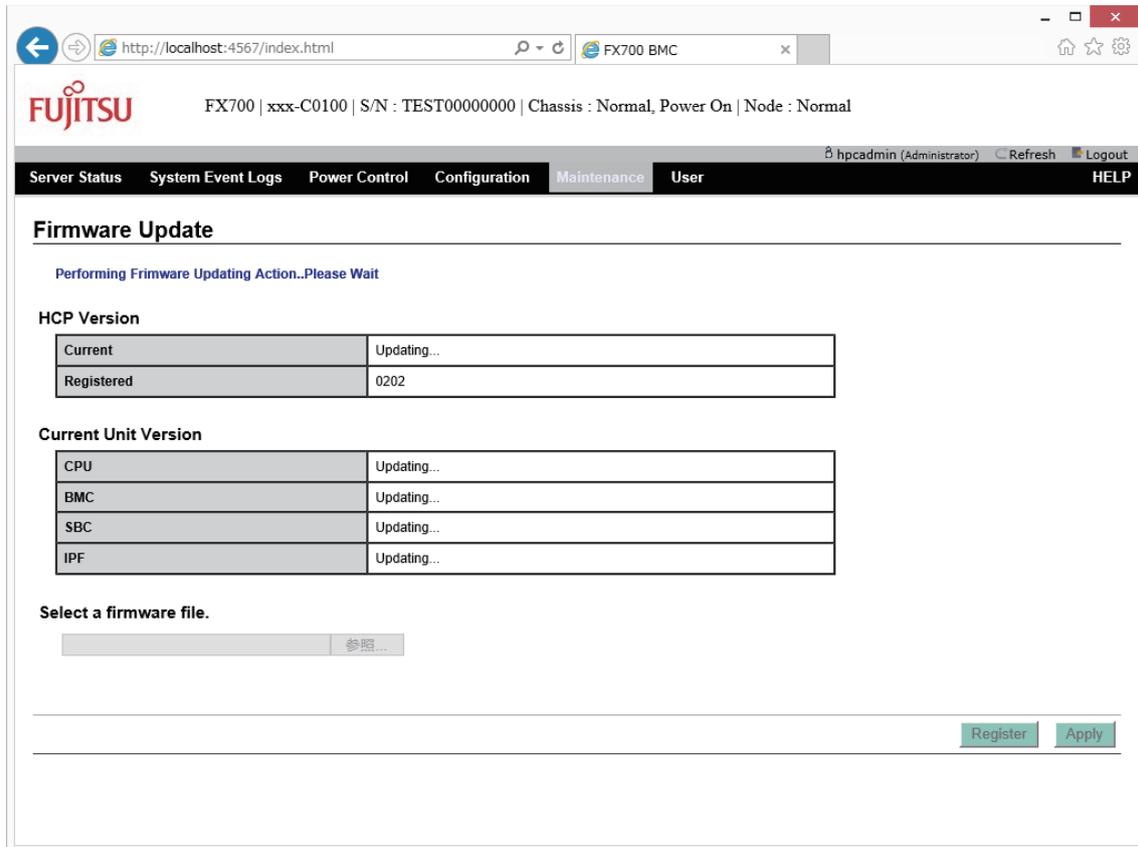
3.5.2 Firmware Update

[Firmware Update] 画面では、FX700本体装置に適用されているHCPファームウェア、および各ユニットに適用されているバージョンを確認できます。また、HCPファームウェアをFX700本体装置に適用することもできます。

備考

Firmware Updateは全NodeのRunning StatusがStop状態で実施してください。

図 3.18 [Firmware Update] 画面



[Firmware Update] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.38 [Firmware Update] 画面の操作項目

操作項目	説明
Register	HCPファームウェアを登録します。手順は「 HCPファームウェアを登録する 」を参照してください。
Apply	登録したHCPファームウェアをFX700本体装置に適用します。手順は、「 HCPファームウェアを適用する 」を参照してください。

HCPファームウェアを登録する

HCPファームウェアはオンラインで入手できます。

- 日本の場合

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/supercomputer/downloads/>

- 海外の場合

<https://www.fujitsu.com/global/products/computing/servers/supercomputer/documents/>

- [Select a firmware file.] に、登録するHCPファームウェアファイルを指定します。
- [Register] ボタンをクリックします。
確認ダイアログボックスが表示されます。
- [OK] ボタンをクリックします。

HCPファームウェアが登録され、[Firmware Update] 画面に戻ります。

HCPファームウェアを適用する

1. 「[HCPファームウェアを登録する](#)」を参照して、HCPファームウェアを登録します。
2. [Apply] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

HCPファームウェアが適用されるため、セッションが切断されてログアウトされます。

注意

- ファイル破損など不正なHCPアーカイブをアップロードした場合、メッセージが表示されます。ファームウェア登録手順をはじめからやり直してください。詳しくは、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 アップグレード&メンテナンスマニュアル』の「4.2.3 アップデート時の注意事項」を参照してください。

HCPファームウェア適用を確認する

HCP Versionのcurrent欄のHCPファームウェアの総合版数が更新されたことを確認します。

1. ファームアップ時間は20分程度かかります。その間、Web GUIのセッション切断が何度か起こります。
2. HCP Versionのcurrent欄のHCPファームウェアの総合版数が登録したHCP版数となっていれば完了です。

[Firmware Update] 画面では、以下が表示されます。

表 3.39 [Firmware Update] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
Current	適用され、稼働しているHCPファームウェアの総合版数が表示されます。
Registered	登録され、適用可能なHCPファームウェアの総合版数が表示されます。
CPU	CPUに適用されているファームウェアの版数が表示されます。
BMC	BMCに適用されているファームウェアの版数が表示されます。
SBC	SBCに適用されているファームウェアの版数が表示されます。
IPF	IPFに適用されているファームウェアの版数が表示されます。

注意

- ファームウェア適用が失敗しているときは、登録手順をはじめからやり直してください。詳しくは、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 アップグレード&メンテナンスマニュアル』の「4.2.3 アップデート時の注意事項」を参照してください。

3.5.3 REMCS

本メニューを選択すると [REMCS] 画面が表示されます。設定内容は「[A.1 REMCSの設定](#)」を参照してください。

図 3.19 [REMCS] 画面



3.5.4 REMCS Detail Setup

本メニューを選択すると [REMCS Detail] 画面が表示されます。設定内容は「A.2 REMCS Detail Setup」を参照してください。

図 3.20 [REMCS Detail] 画面



3.6 User

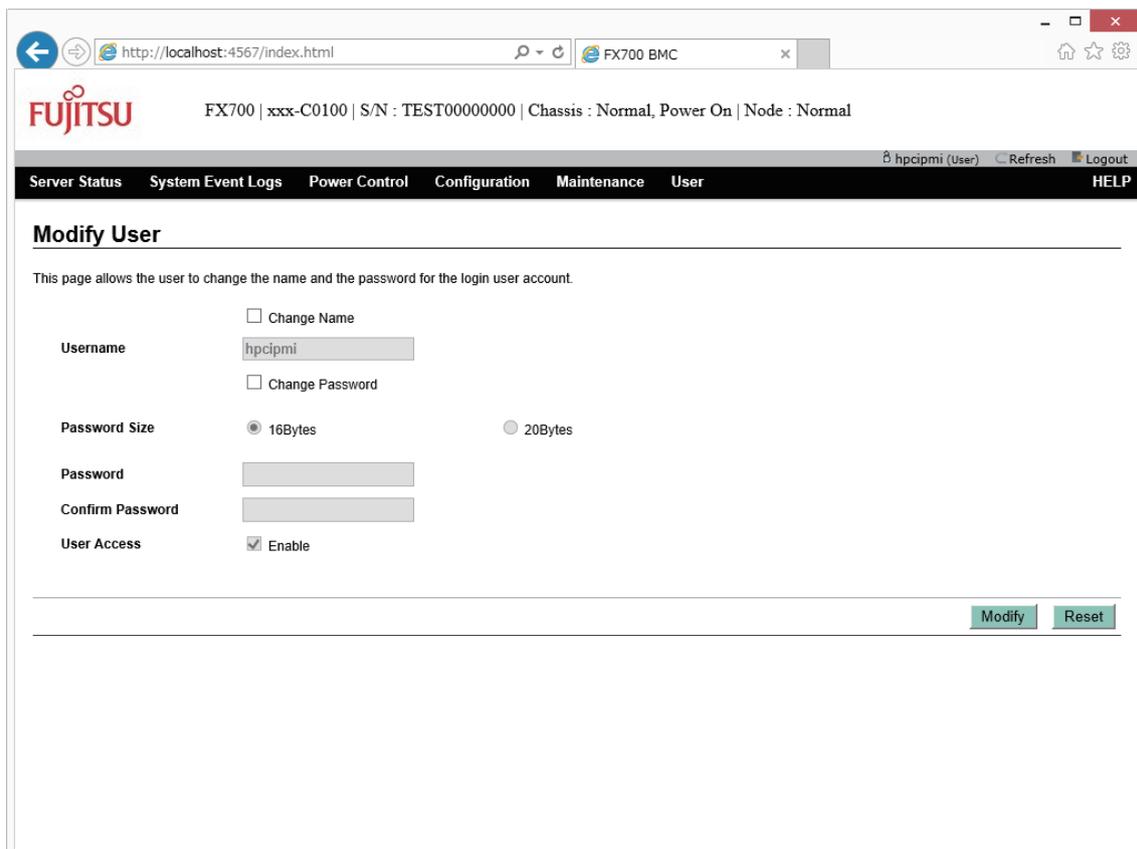
このカテゴリでは、ユーザー登録情報を表示したり変更したりする機能が提供されます。

3.6.1 Modify User

[Modify User] 画面では、ログインしているユーザーの登録情報を確認したり変更したりできます。
備考

- [Modify User] 画面は、Operator/User権限のアカウントでログインしているときに表示されます。

図 3.21 [Modify User] 画面



[Modify User] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.40 [Modify User] 画面の操作項目

操作項目	説明
Modify	ログインしているユーザーの登録情報を変更します。手順は「 ユーザーの登録情報を変更する ([Modify User] 画面) 」を参照してください。
Reset	ユーザーの登録情報を現在設定されているものに戻します。

ユーザーの登録情報を変更する ([Modify User] 画面)

注意

- [User Access] は変更できません。

表 3.41 ユーザー登録情報の変更 ([Modify User] 画面)

入力/表示項目	説明
Change Name	ユーザー名を変更する場合は、[Change Name] チェックボックスをオンにします。
UserName	新しいユーザー名を1~16文字で指定します。入力時に元のユーザー名が表示されている場合は、削除します。
Password Size	変更するパスワードの長さを [16 Bytes] または [20 Bytes] で指定します。[20 Bytes] ラジオボタンをオンにした場合、IPMIでの通信でlanplus接続が必須になります。
Password	- パスワードを7文字以上で指定します。 - [Password Size] で [16 Bytes] ラジオボタンをオンにした場合は、パスワードの最大文字数は15文字です。[20 Bytes] ラジオボタンをオンにした場合は、パスワードの最大文字数は19文字です。
Confirm Password	[Password] と同じパスワードを指定します。
User Access	[Enable] チェックボックスがオンの状態で表示されます。

1. [Modify] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。

[Modify User] 画面に戻ります。

備考

- ユーザー名を変更した場合は、セッションが切断され、再ログインを促す画面が表示されます。

[Modify User] 画面では、以下が表示されます。

表 3.42 [Modify User] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
Username	ユーザー名が表示されます。
User Access	ユーザーアクセスの状況がEnabledで表示されます。

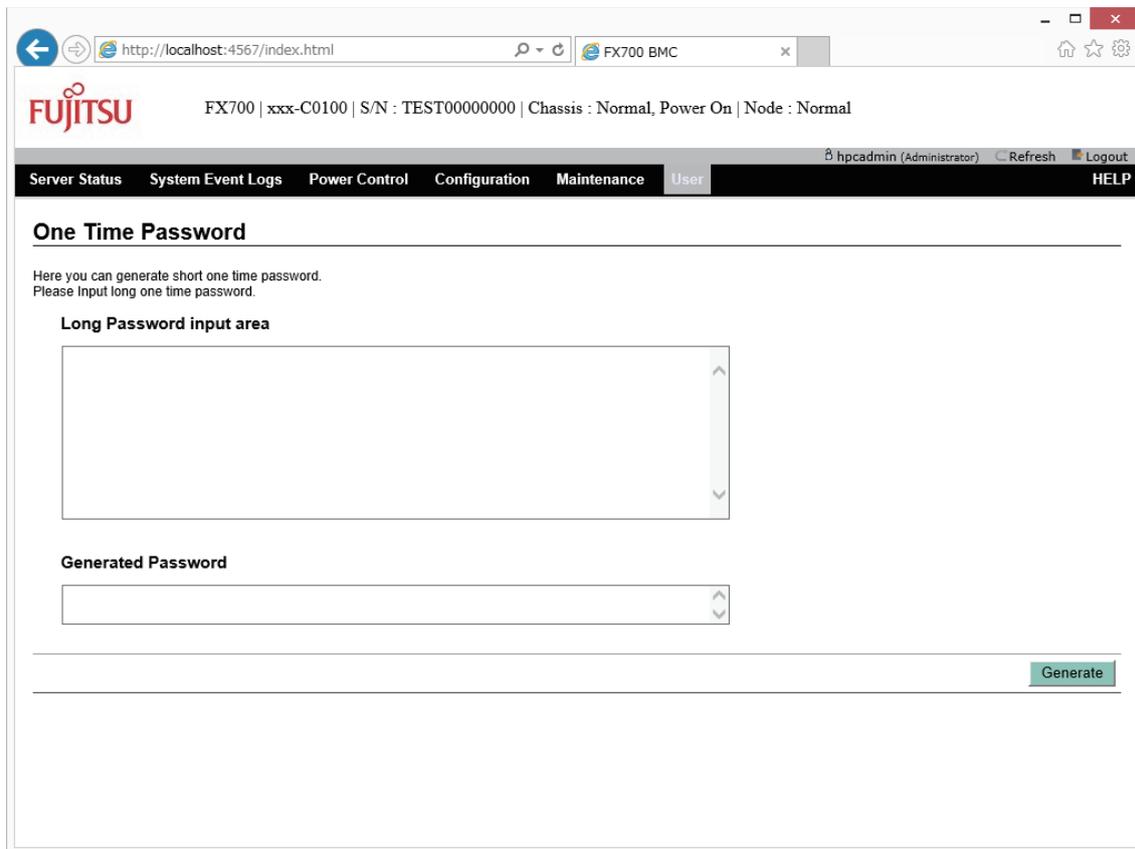
3.6.2 One Time Password

[One Time Password] 画面では、BMCファームウェアにroot権限で一時的にログインするためのショートパスワードを発行できます。

注意

- ショートパスワードを発行するためには、ロングパスワード発行権限保有者が発行したパスワードが必要です。最寄りのFujitsuサービスセンターにお問い合わせください。

図 3.22 [One Time Password] 画面



[One Time Password] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.43 [One Time Password] 画面の操作項目

操作項目	説明
Generate	ショートパスワードを発行します。手順は「 ショートパスワードを発行する 」を参照してください。

ショートパスワードを発行する

本機能は、保守担当者のみ使用します。Operator権限のユーザーは使用しないでください。

- [Long Password input area] にロングパスワード発行権限保有者によって発行されたパスワードを入力し、[Generate] ボタンをクリックします。

ショートパスワードが発行され、[Generated Password] に表示されます。

表 3.44 ショートパスワードの発行

入力項目	説明
Long Password input area	ロングパスワード発行権限保有者によって発行されたパスワードを指定します。

第4章 コマンドサポート (IPMI)

本章では、BMCが受け付けるリクエスト（コマンド）、コマンドの機能、およびRequest/Responseデータフォーマットを説明します。

管理クライアントから入力されたコマンドは、LAN経由でBMCに送付されます。

注意

本章に記載のないコマンドは非サポートです。非サポートコマンドを入力した場合の動作保証はありません。

4.1 コマンド一覧表

ここでは標準コマンドを説明します。

備考

レスポンスは常に、受け付けられたリクエストのインターフェイスに対して送付されます。

4.1.1 IPMI標準コマンド一覧表

ここでは、IPMI標準コマンド一覧表を示します。

表 4.1 Chassis Deviceコマンド一覧

Command	同期	CMD	Privilege	ターゲット(*1)	
				Chassis	Node
Get Chassis Status	同期	01h	User	サポート	サポート
Chassis Control	非同期	02h	User	サポート	サポート

*1: 発行可能対象

ターゲット指定方法

ipmiコマンドの `-t` オプションでターゲットの指定が可能です。

```
-t <target>
```

target指定可能オプション

- 0x20 Chassis
- 0x30 Node#0
- 0x32 Node#1
- 0x34 Node#2
- 0x36 Node#3
- 0x38 Node#4
- 0x3a Node#5
- 0x3c Node#6

- 0x3e Node#7

4.1.2 Get Chassis Status (NetFN:00h, CMD:01h)

本コマンドが各Node(Node#0~Node#7)に対して発行された場合は、各Nodeの電源状態を返します。一方、Chassis-BMCに対して発行された場合は、Chassis(PSU/FAN)の電源状態を返します。

表 4.2 Get Chassis statusフォーマット

	Byte	Data Field
Request Data	-	-
Response Data	1	Completion Code
	2	<p>Current Power Status</p> <p>[7] reserved</p> <p>[6:5] power restore policy 00b = 復電後、Power Off 状態を維持する。</p> <p>[4] power control fault 1b = 期待通りの電源状態にならなかった場合 0b = 正常</p> <p>[3] power fault 1b = 電源異常を検出した場合 0b = 正常</p> <p>[2] 1b = interlock 状態のためシャットダウン 0b = interlock 状態ではない</p> <p>[1] Power overload 1b = power overload 状態のためシャットダウン 0b = power overload 状態ではない</p> <p>[0] Power is on 1b = system power is on 0b = system power is Off</p>
	3	<p>Last Power Event</p> <p>[7:5] reserved</p> <p>[4] 1b = Power is on (IPMI コマンドによる)</p> <p>[3] 1b = Power down (電源異常による)</p> <p>[2] 1b = Power down (power interlock 状態による)</p> <p>[1] 1b = Power down (power overload 状態による)</p> <p>[0] 1b = AC failed</p>
	4	<p>Misc. Chassis State</p> <p>[7:4] reserved</p> <p>[6] 1b = Chassis Identify command サポート</p> <p>[5:4] Chassis LED State 00b = Off 01b = On (一定時間) 10b = On (不定) 11b = reserved</p> <p>[3] 1b = FAN 異常を検出した場合</p> <p>[2] 1b = ドライブ異常を検出した場合</p> <p>[1] 1b = Chassisの強制Power Off/Resetボタンが無効</p> <p>[0] 1b = Chassis intrusion active</p>
	(5)	Front Panel Button Capabilities and disable/enable status (Option)

4.1.3 Chassis Control (NetFN:00h, CMD:02h)

Nodeに対して、Power On/Offを行います。

本コマンドは、Power On/Offの指示を発行するのみで、Power On/Off処理は突き離して実行されます。

宛先がChassisの場合は、未サポート(Completion Code : C1h)を応答します。

表 4.3 Chassis Control フォーマット

	Byte	Data Field
Request Data	1	[7:4] reserved [3:0] chassis control 0h = Power down 1h = Power up 2h = Power cycle (未サポート) 3h = Hard reset 4h = Pulse Diagnostic Interrupt 5h = Initiate a soft-shutdown 6h-Fh = reserved
Response Data	1	Completion Code

4.1.4 OEMコマンド一覧表

ここでは、OEMコマンド一覧表を示します。

表 4.4 OEMコマンド一覧

NetFn = OEM(34h)

Command	同期	CMD	Privilege	ターゲット(*1)		インターフェイス
				Chassis	Node	
Set Boot Script Number	同期	2Eh	User	-	サポート	LAN
Get Boot Script Number	同期	4Fh	User	-	サポート	LAN

4.1.5 Set Boot Script Number (NetFN: 34h, CMD: 2Eh)

Nodeに対して、Bootスクリプト番号を指定します。

表 4.5 Set Boot Script Numberフォーマット

	Byte	Data Field
Request Data	1	Boot Script Number 00h = DISKブート 01h = 非サポート 02h = OSインストール用 80h = ブートせずにUEFIで停止 FFh = DISKブートを自動的に選択
Response Data	1	Completion Code

4.1.6 Get Boot Script Number (NetFN: 34h, CMD: 4Fh)

Nodeに設定されているBootスクリプト番号を応答します。

表 4.6 Get Boot Script Numberフォーマット

	Byte	Data Field
Request Data	-	-
Response Data	1	Completion Code
	2	Boot Script Number 00h = DISKブート 01h = 非サポート 02h = OSインストール用 80h = ブートせずにUEFIで停止 FFh = DISKブートを自動的に選択

付録 A REMCS

この付録では、REMCSの設定について説明します。

A.1 REMCSの設定

⚠ 注意

お客様情報の入力について

- お客様情報をREMCSセンターに登録すると、お客様宛に「登録完了」の通知がメールと封書で送られます。お客様情報は、お客様とのトラブルを回避するために、必ずお客様に確認したうえで入力してください。

A.1.1 環境の準備

ここでは、REMCSセンターと接続してサービスを開始するために必要な環境および条件について説明します。

A.1.1.1 REMCSセンターと接続するための条件

お客様の装置をREMCSセンターに接続するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

■ インターネット接続の場合

- お客様の装置がインターネットに接続可能な環境にあること
- インターネットへのメール送信が可能であること

注意

- お客様のネットワーク環境によっては、インターネットへのメール送信に許可が必要な場合があります。詳細については、お客様のネットワーク管理者に確認してください。

備考

- ファイアウォールなどのセキュリティ機構については、必要に応じてお客様自身で準備していただく必要があります。

A.1.1.2 設定の準備

■ ネットワーク関連情報の準備

お客様の装置を設定したりREMCSエージェントをセットアップしたりするためには、[表 A.1](#)に示すネットワーク関連情報が必要です。

注意

- 設定内容は、お客様が使用しているネットワーク環境によって異なります。

表 A.1 インターネット接続の場合

項目		内容
システム（装置）の設定		
1	IPアドレス	装置のIPアドレス - サブネットマスク - デフォルトゲートウェイ
2	ドメインネームシステム（DNS）	ネットワークコンピューター名（ホスト名）の解決に使用するDNSサーバの設定 - 装置自体のホスト名、ドメイン名 - DNSサーバのIPアドレス
REMCSエージェントの設定		
1	メール（SMTP）サーバ	REMCSエージェントがメールを送信する場合に使用するメールサーバのホスト名、ドメイン名（またはIPアドレス）
2	通信用メールアドレス	REMCSエージェントがメールを送信する場合に使用するメールアドレス
3	管理者用メールアドレス	センターからお客様に情報を提供する場合に使用するメールアドレス

■ その他

- 使用するメールサーバのIPアドレスまたはFQDN
- 送信元メールアドレス（社外発信資格が必要）

備考

- 送信元メールアドレスは、お客様に準備していただくようにしてください。

A.1.2 REMCSの設定

REMCSセンターへの接続環境が用意できたら、REMCSの設定を開始します。

1. Web GUIにログインし、[Maintenance] - [REMCS] の順に選択して、REMCSメニューを起動します。
REMCSの設定を完了していない場合、[図 A.1](#)に示す [お客様登録のご案内] 画面が表示されます。

図 A.3 [初期設定] 画面

4. [接続形態] で [インターネット接続（メールのみ）] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
[インターネット（メールのみ）接続の環境設定] 画面が表示されます。

図 A.4 [インターネット（メールのみ）接続の環境設定] 画面

5. メール送信のための情報を指定します。

表 A.2 [インターネット（メールのみ）接続の環境設定] 画面での指定

入力項目	入力必須	説明
SMTPサーバ	○	SMTPサーバ名またはIPアドレスを半角英数字記号128文字以内で指定します。
発信元E-Mail	○	発信元メールアドレスを半角英数字記号128文字以内で指定します。

表 A.2 [インターネット（メールのみ）接続の環境設定] 画面での指定（続き）

入力項目	入力必須	説明
認証タイプ	－	認証タイプを以下から選択します。 - 認証なし - POP Before SMTP - AUTH SMTP
AUTH SMTP認証機構（*1）	－	AUTH SMTP認証機構を以下から選択します。 - AUTO（デフォルト） - CRAM-MD5 - PLAIN - LOGIN
ユーザーID	△（*2）	認証サーバのユーザーIDを半角英数字記号64文字以内で指定します。
パスワード	△（*2）	認証サーバのパスワードを半角英数字記号64文字以内で指定します。指定した文字は、すべて*（アスタリスク）で表示されます。
POPサーバ	△（*3）	POPサーバ名またはIPアドレスを半角英数字記号128文字以内で指定します。
分割方式（*4）	－	分割方式を以下から選択します。 - 分割なし - メール分割 - イベント分割（デフォルト）
分割サイズ	△（*5）	分割サイズを半角数字3文字以内で指定します。 - [分割方式]で[メール分割]を選択した場合、10~100 KBの範囲で指定します。デフォルトは、64 KBです。 - [分割方式]で[イベント分割]を選択した場合、64~512 KBの範囲で指定します。デフォルトは、512 KBです。
暗号タイプ（*4）	－	暗号タイプを以下から選択します。 - S/MIME形式（デフォルト） - 従来形式 従来はREMCSファイル形式を作成する過程で暗号化していましたが、これに代わる形式として一般に普及しているS/MIMEによる暗号メール方式をサポートしています。

*1: [認証タイプ]で[AUTH SMTP]を選択した場合に有効になります。

*2: [認証タイプ]で[認証なし]以外を選択した場合に必須です。

*3: [認証タイプ]で[POP Before SMTP]を選択した場合に必須です。

*4: 分割方式によって、選択できる暗号タイプが以下のように変わります。

- 分割なし：両方選択可能

- メール分割：従来形式のみ

- イベント分割：両方選択可能

*5: [分割方式]で[分割なし]以外を選択した場合に必須です。

6. [次へ] ボタンをクリックします。

[定期接続スケジュール設定]画面が表示されます。

図 A.5 [定期接続スケジュール設定] 画面

■ 接続形態設定 → □ 環境設定 → □ お客様情報設定 → □ レジストレーション → □ 接続確認

[REMCSメニューの終了](#)

定期接続スケジュール設定

現在、定期接続スケジュールは設定されていません

周期 曜日 (【周期】が【毎週】の場合に必須)

運用時間 時 分 ~ 時 分 (定期接続時刻は【運用時間】の範囲から無作為に設定)
※運用終了時刻の入力が無い場合、運用開始時刻が定期接続時刻に設定されます。

装置ID 設定未完了 インターネット接続(メールのみ)

7. 定期接続のスケジュールを指定します。

表 A.3 [定期接続スケジュール設定] 画面での指定

入力項目	入力必須	説明
周期	-	周期を以下から選択します。 - 毎週 - 毎日 - 毎日（日曜以外） - 毎日（土日以外） - 週一回
曜日	-	【周期】で【毎週】または【週一回】を選択した場合、曜日を【日曜日】～【土曜日】で指定します。
運用開始時刻（時）	○	運用開始時刻の時を0~23の半角数字で指定します。
運用開始時刻（分）	○	運用開始時刻の分を0~59の半角数字で指定します。
運用終了時刻（時）	○	運用終了時刻の時を0~23の半角数字で指定します。
運用終了時刻（分）	○	運用終了時刻の分を0~59の半角数字で指定します。

8. [次へ] ボタンをクリックします。

[お客様情報の入力] 画面が表示されます。

図 A.6 [お客様情報の入力] 画面

9. お客様情報を指定します。

表 A.4 [お客様情報の入力] 画面での指定

入力項目	入力必須	説明
法人名	○	法人名を全角文字30文字以内で指定します。
法人名 (カナ)	○	法人名を全角カタカナ40文字以内で指定します。
部署名	×	お客様の部署名を全角文字20文字以内で指定します。
ご住所	○	お客様の住所を全角文字で指定します。
ビル名称	×	お客様のビル名を全角文字で指定します。
管理者のお名前	○	お客様のサーバ管理者名を全角文字で指定します。
管理者のお名前 (カナ)	○	お客様のサーバ管理者名を全角カタカナで指定します。
E-Mailアドレス	○	お客様のサーバ管理者のメールアドレスを半角英数字記号で指定します。
郵便番号	×	お客様の会社所在地の郵便番号を半角数字と- (ハイフン) で指定します。 指定できる文字数は、設置国に対応したものになり、定義ファイルで定義されています。定義ファイルで定義されていない場合、指定できる文字数は10文字です。
電話番号	○	お客様の電話番号を半角数字記号と- (ハイフン) で指定します。
FAX番号	×	お客様のFAX番号を英数字記号と- (ハイフン) で指定します。
装置ユニーク名	×	お客様固有の名称を半角英数字記号32文字以内で指定します。 FX700システムに割り当てられるラック番号を指定することを推奨します。
国名	○	国名を英文字2文字で指定します。 英小文字で指定した場合は、英大文字に変換されます。 未設定の国には99を指定します。
設置場所	×	設置場所を全角文字で指定します。

表 A.4 [お客様情報の入力] 画面での指定 (続き)

入力項目	入力必須	説明
設置場所のビル名称	×	設置場所のビル名を全角文字で指定します。
実施者E-Mail	×	CEのメールアドレスを半角英数字記号で指定します。
個人情報削除	×	<p>[CE操作メニュー]の[個人情報削除]で個人情報を削除する場合に、チェックボックスをオンにします。オンにすると、以下のお客様情報が[個人情報削除]で削除されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 管理者のお名前 - 管理者のお名前 (カナ) - E-Mailアドレス - 電話番号 - FAX番号 - 実施者E-Mail <p>[個人情報削除]の詳細は、「A.2.6 個人情報削除」を参照してください。</p>

10. [次へ] ボタンをクリックします。

[入力情報の確認] 画面が表示されます。

図 A.7 [入力情報の確認] 画面



11. お客様情報に誤りがないことを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

[情報送信に関する合意事項] 画面が表示されます。

備考

- お客様情報に誤りがあった場合は、[戻る] ボタンをクリックして[お客様情報の入力] 画面に戻り、お客様情報を修正してください。

図 A.8 [情報送信に関する合意事項] 画面

The screenshot shows a web interface for the 'Information Consent' step. At the top, there is a navigation bar with the following items: ■接続形態設定 → ■環境設定 → ■お客様情報設定 → □レジストレーション → □接続確認. A link 'REMCSメニューの終了' is located in the top right corner. The main content area has a title '情報送信に関する合意事項' and a text box containing the following text: '下記の方針にご賛同いただける場合、「合意する」ボタンを押下してください。登録内容をサポートセンターへ送信します。 お客様登録では、お客様の情報、ハードウェア、ソフトウェアの構成を弊社REMCSセンターに送信致します。 さらに、トラブル発生時の調査資料を弊社REMCSセンターに送信します。 送付いただく情報は、お客様の機器及びソフトウェアの保守、弊社の新製品のご案内、弊社の製品改善のために使わせていただきます。この情報は第三者には提供致しません。 また、情報は装置内で暗号化された後に送信されます。' Below the text box are three buttons: '戻る', '合意する', and 'キャンセル'. At the bottom of the page, there is a footer with the text: '装置ID 設定未完了 インターネット接続(メールのみ)'.

12. メール送信が可能であることを確認したのち、[合意する] ボタンをクリックします。
入力した情報がREMCSセンターに送られ、[レジストレーション結果] 画面が表示されます。

図 A.9 [レジストレーション結果] 画面

The screenshot shows a web interface for the 'Registration Result' step. At the top, there is a navigation bar with the following items: ■接続形態設定 → ■環境設定 → ■お客様情報設定 → ■レジストレーション → □接続確認. A link 'REMCSメニューの終了' is located in the top right corner. The main content area has a title 'レジストレーション結果' and a text box containing the text: 'レジストレーションに成功しました。' Below the text box are three buttons: '戻る', '次へ', and 'キャンセル'. At the bottom of the page, there is a footer with the text: '装置ID 設定未完了 インターネット接続(メールのみ)'.

13. レジストレーションの実行に成功したことを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

[接続確認] 画面が表示されます。

備考

- レジストレーションの実行に失敗した場合は、[戻る] ボタンをクリックして情報を修正してください。

図 A.10 [接続確認] 画面

14. 接続確認結果の送信先を指定します。

表 A.5 [接続確認] 画面での指定

入力項目	入力必須	説明
お客様管理者への結果通知 (*1)	－	お客様管理者への結果通知の要否を指定します。デフォルトでは、[通知する。] がオンになります。
お客様管理者E-Mailアドレス (*2)	×	お客様のサーバ管理者のメールアドレスを半角英数字記号60文字以内で指定します。 [お客様管理者への結果通知] で [通知する。] をオンにしているにもかかわらず、[お客様管理者E-Mailアドレス] の指定を省略した場合は、REMCSセンター登録済みのメールアドレスに結果通知が送信されます。
実施者への結果通知	－	実施者への結果通知の要否を指定します。デフォルトでは、[通知しない。] がオンになります。
結果通知先E-Mailアドレス	△ (*3)	実施者のメールアドレスを半角英数字記号60文字以内で指定します。

*1: 個人情報を削除していない場合に、[お客様情報の入力] 画面で [E-Mailアドレス] に指定したお客様のサーバ管理者のメールアドレスが表示されます。

*2: [CE操作メニュー] の [個人情報削除] で個人情報を削除した場合に表示されます。

*3: [実施者への結果通知] で [通知する。] をオンにした場合に必須です。

15. [接続確認] ボタンをクリックします。

[接続確認結果] 画面が表示されます。

図 A.11 [接続確認結果] 画面



16. [完了] ボタンをクリックします。
[接続先REMCSセンターの設定] 画面に戻ります。

A.2 REMCS Detail Setup

Web GUIにログインし、[Maintenance] - [REMCS Detail Setup] の順に選択して [REMCS CEメニュー] 画面を表示します。
REMCS Detail Setupは、[REMCS CEメニュー] 画面の [CE操作メニュー] を使用して実施します。
[CE操作メニュー] のメニューから適切なものを選択することで、接続先REMCSセンターの設定、日本語／英語の切替え、環境詳細設定、個人情報削除などができます。

A.2.1 REMCS CEメニュー（初期画面）

図 A.12に、[REMCS CEメニュー] 画面の初期画面を示します。

図 A.12 REMCS CEメニュー（初期画面）



A.2.2 環境詳細情報

[CE操作メニュー] で [環境詳細情報] を選択すると、[図 A.13](#)に示す [環境詳細設定画面] が表示されます。

図 A.13 環境詳細情報



[環境詳細設定画面] では、表 A.6に示す内容を指定します。

表 A.6 [環境詳細設定画面] での指定

入力項目	入力必須	説明
E-Mail設定		
タイムアウト時間	○	メールのタイムアウト時間（秒）を半角数字4文字以内で指定します。60~3600の範囲が指定可能です。
リトライ回数	○	メールのリトライ回数を半角数字2文字以内で指定します。
リトライ間隔	○	メールのリトライ間隔を半角数字3文字以内で指定します。1~600の範囲が指定可能です。
SMTPサーバ	○	SMTPサーバ名またはIPアドレスを半角英数字記号128文字以内で指定します。
SMTPポート番号	○	SMTPサーバのポート番号を半角数字5文字以内で指定します。1~65535の範囲が指定可能です。デフォルトでは、25（Well Known Port）が使用されます。
暗号化接続の種類	-	定義ファイル（RMG_Menu.def）で表示設定をしている場合、SMTP over SSLの暗号化接続の種類を以下から選択します。 - なし（デフォルト） - STARTTLS - SSL/TLS
認証設定		
認証タイプ	-	認証タイプを以下から選択します。 - 認証なし - POP Before SMTP - AUTH SMTP
AUTH SMTP認証機構（*1）	-	AUTH SMTP認証機構を以下から選択します。 - AUTO（デフォルト） - CRAM-MD5 - PLAIN - LOGIN
ユーザーID	△（*2）	認証サーバのユーザーIDを半角英数字記号64文字以内で指定します。
パスワード	△（*2）	認証サーバのパスワードを半角英数字記号64文字以内で指定します。指定した文字は、すべて*（アスタリスク）で表示されます。
POP設定（【認証タイプ】に【POP Before SMTP】指定時）		
POPサーバ	△（*3）	POPサーバ名またはIPアドレスを半角英数字記号128文字以内で指定します。
POPポート番号	○	POP3認証サーバのポート番号を半角数字5文字以内で指定します。1~65535の範囲が指定可能です。デフォルトでは、110（Well Known Port）が使用されます。

表 A.6 [環境詳細設定画面]での指定(続き)

入力項目	入力必須	説明
POP認証後のメール送信待機時間	○	POP3認証後にメール送信を開始するまでの待ち時間（ミリ秒）を半角数字5文字以内で指定します。0~30000の範囲が指定可能です。10000ミリ秒を推奨します。
その他		
発信元E-Mail	○	発信元のメールアドレスを半角英数字記号128文字以内で指定します。
分割方式（*4）	-	分割方式を以下から選択します。 - 分割なし - メール分割 - イベント分割（デフォルト）
分割サイズ	△（*5）	分割サイズを半角数字3文字以内で指定します。 - [分割方式]で[メール分割]を選択した場合、10~100 KBの範囲で指定します。デフォルトは、64 KBです。 - [分割方式]で[イベント分割]を選択した場合、64~512 KBの範囲で指定します。デフォルトは、512 KBです。

*1: [認証タイプ]で[AUTH SMTP]を選択した場合に有効になります。

*2: [認証タイプ]で[認証なし]以外を選択した場合に必須です。

*3: [認証タイプ]で[POP Before SMTP]を選択した場合に必須です。

*4: 分割方式によって、選択できる暗号タイプが以下のように変わります。

- 分割なし：両方選択可能
- メール分割：従来形式のみ
- イベント分割：両方選択可能

*5: [分割方式]で[分割なし]以外を選択した場合に必須です。

A.2.3 接続先REMCSセンター

[CE操作メニュー]で[接続先REMCSセンター]を選択すると、[図 A.14](#)に示す[接続先REMCSセンターの設定]が表示されます。

[接続先REMCSセンターの設定]では、[REMCSセンター]で[OSC]を選択します。

図 A.14 接続先REMCSセンターの設定

CE操作メニュー
環境詳細情報
接続先REMCSセンター
日本語/英語切替え
装置名表示の切替え
個人情報削除
SSL証明書を表示
接続先センターリストの入れ替え
REMCS CEメニューの終了

接続先REMCSセンターの設定

REMCSセンター OSC

設定 キャンセル

装置ID 運用中 インターネット接続(メールのみ)

A.2.4 日本語／英語切替え

[CE操作メニュー] で [日本語／英語切替え] を選択すると、[図 A.15](#)に示す [日本語／英語の切替え] が表示されます。

[日本語／英語の切替え] では、表示する言語を指定します。

図 A.15 日本語／英語の切替え

CE操作メニュー
環境詳細情報
接続先REMCSセンター
日本語/英語切替え
装置名表示の切替え
個人情報削除
SSL証明書を表示
接続先センターリストの入れ替え
REMCS CEメニューの終了

日本語／英語の切替え

日本語
 英語

設定 キャンセル

装置ID 運用中 インターネット接続(メールのみ)

A.2.5 装置名表示の切替え

[CE操作メニュー] で [装置名表示の切替え] を選択すると、[図 A.16](#)に示す [装置ID／ユニーク名の切替え] が表示されます。

[装置ID/ユニーク名の切替え]では、状態表示フレームに表示する装置名（装置ID/装置ユニーク名）を指定します。

図 A.16 装置ID/ユニーク名の切替え



A.2.6 個人情報削除

[CE操作メニュー]で[個人情報削除]を選択すると、図 A.17に示す[個人情報削除]が表示されます。
[個人情報削除]では、お客様情報に含まれる個人情報を削除する場合に、[削除]ボタンをクリックします。

図 A.17 個人情報削除



A.2.7 SSL証明書の表示

[CE操作メニュー]で[SSL証明書の表示]を選択すると、[図 A.18](#)および[図 A.19](#)に示す[証明書の表示]が表示されます。

SSL証明書が存在する場合、[図 A.18](#)が表示されます。SSL証明書が存在しない場合、[図 A.19](#)が表示されます。

図 A.18 証明書の表示



図 A.19 SSL証明書が存在しない場合の表示



A.2.8 接続先センターリストの入れ替え

[CE操作メニュー]で[接続先センターリストの入れ替え]を選択すると、[図 A.20](#)に示す[接続先センターリストの入れ替え]が表示されます。

[接続先センターリストの入れ替え]では、接続先REMCSセンターリストファイルを指定して登録します。

図 A.20 接続センターリストの入れ替え

The screenshot shows a web-based interface with a left-hand menu and a main content area. The left menu contains the following items: CE操作メニュー, 環境詳細情報, 接続先REMCSセンター, 日本語/英語切替え, 装置名表示の切替え, 個人情報削除, SSL証明書の表示, 接続先センターリストの入れ替え, and REMCS CEメニューの終了. The main content area is titled '接続先センターリストの入れ替え' and contains the instruction '接続先センターリストファイルを指定してください。' Below this is a text input field for 'ファイル名' with a '参照...' button to its right. At the bottom of the main area are two buttons: '登録' and 'キャンセル'.

FUJITSU